関大

関西大学校友会
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人 神屋敷民蔵
電話大阪(388)1121代表
振替口座大阪55594番

望遠鏡から顕微鏡まで
光学館
心斎橋店
2階に新設
メガネ大学堂

早くもぞくぞく校友の好意

母校創立90周年記念校友募金

組織通じ協力を

記念祭日標に活動展開

母校創立九十周年を記念して行う校友募金については、先に基本方針を樹て、記念祭行事の運営費金と校友会運営のための危機突破資金の確立を目的に募金活動を展開することになったが、引続いて行われた常議員会で、校友会傘下の地域支部、職域、同期、各種団体を包含した組織ぐるみの協力体制を求めることになり、このたび成案を下に、各組織代表に協力を要請した。

募金委員二五九名を委嘱

母校創立九十周年記念事業を推進するための常議員会は、八月六日、北区堂ビル清交社で開き、九十周年を記念して行う校友募金に関する実施細目を検討した。

ことに十一月一日、大阪中之島フェスティバルホールで開催される「母校創立九十周年記念祭」を三カ月後にひかえ、校友会で行う今年最大の行事として、多彩な企画を盛り込み、盛大に祝賀するが、当面この記念祭を推進するために万全を期することになった。

なかでも記念祭行事に合わせて「十月三十日」をもって締切りとする募金第一期の期間内に二千五百万円」を目標に募金活動を展開することにし、また募金額の多寡を問わず、募金寄付者には「記念の夕入場券」を進呈することを申し合わせた。

なお、第二期には残り「二千五百万円」を主として終身会費拡充運動等によって賛助金を求め目標額達成につとめる。

以上を前提にして募金体制を整えるため、校友会の各組織代表・校友会本部役員ら二百五十九名を募金委員に委嘱することにし、組織を中心とした募金活動を展開するほかに、校友会代議員に要請状を一般校友には本紙、組織などを通じ協力を要請することになった。

なお本紙前号に発表された「募金要項」によって、校友の方々から早速に続々と募金を賜っておりご好意を感謝している。

募金趣意書の全文はつぎのとおりであり、本紙同封の振替用紙によって一人でも多くの校友から協力わるよう強く望まれている。

募金趣意書

母校関西大学は、創立九十周年を迎え、今や大学院、法、文、経、商、社、工の六学部と、一高一中、幼稚園を併設する一大総合学園に発展しましたことは、私ども校友の誇りでありまた喜びとするところであります。

校友会は、昭和三十年母校創立七十周年を記念して機関紙〝関大〟を創刊し、事務局を設置して鋭意組織の拡充につとめた結果、現在地域支部、職域、同期など三三〇余の組織が全国的に結成され、活溌な校友会活動が展開されている次第であります。

しかし近年の異常な物価の高騰により事務局運営費の膨張のほか、予想される郵便料金の値上げに伴う機関紙発送料金の増大など、明年以降の校友会財政は極めて困難な情勢にあります。

校友会は、意義ある母校創立九十周年の記念祭を開催し、これを契機として校友会財政の基盤を確立し、以って母校の発展に寄与したいと存じます。

つきましては、募金に対しまして、校友のみなさんのご賛同と絶大なるご協力を心からお願い申し上げる次第であります。

昭和五十年七月
関西大学校友会
会長 樫本信雄

母校創立九十周年記念 協賛校友募金 要項

一、募金目的 母校創立九十周年を記念する校友会事業に資するための募金

二、募金目標
- ①九十周年記念式典ならびに記念の夕運営の資金 約一、五〇〇万円
- ②校友会運営のための危機突破資金 約三、五〇〇万円

三、募金額 一口 五、〇〇〇円 一口以上

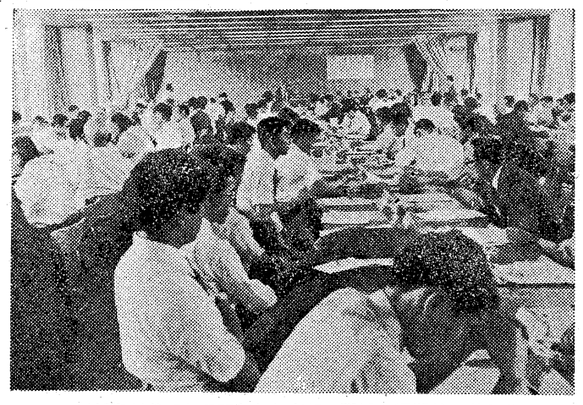
四、募金期間 自 昭和五十年七月十五日 至 昭和五十年十月二十日

五、申込方法 同封の振替用紙をご利用下さい。振替用紙または現金書留その他確実な方法で送金下さい。

六、送金方法
- ○郵便振替口座 大阪五五九四番
- ○銀行口座 大和銀行天六支店 関西大学校友会募金口
- ○現金送金 〒五六四 吹田市山手町三丁目三番三五号 関西大学校友会事務局募金係

組織の強化など討議

支部・職域・同期代表者会議


165名が参加して開かれた支部・職域・同期代表者会議

昭和五十年度全国支部、職域、同期代表者会議は七月十二日(土)午後二時から大阪証券会館で開催された。

当日は暑い最中を全国各地から一六五名の代表者の方々が参加し組織運営等に関して話し合われた。

母校関大からはお忙しい中を教学部長野崎治男、常務理事今井康兼の両先生の出席があった。

懇談に入って、初めに愛知県支部長の白羽弥三氏より質問があった。内容は、①組織活動の拡充強化と基盤確立のための具体策に関して、②事務局が支部別の名簿を各支部長あてに配布した企図とその効果について、③全国中心主義の考えはないか、他の近県ブロック支部等の組織化は考えてはいないか等であった。

答弁には北野組織部副部長があたり、①に関しては「未組織地区懇談会」や、または大阪近郊の地域支部で停滞している支部を対象に懇談会を開催、新支部も宮城、茨城、栃木に結成されたとの報告があり、②に関しては、会員の掌握を企図とし、未組織の唯一の資料として重宝がられている、との報告があり、③近県ブロック支部の組織に関しては組織部会の際に検討したいとの解答があった。

次に「十三(とみ)会」頓戸勇氏から、会員が高齢化しており居住地が分散しているため、懇親会がマンネリ化し、往時の意気はない。何か老体を鼓舞する起死回生の方法を教示願いたいとの要望があった。

三番目は「五十経会」の平沢農一氏より、機関紙「関大」に「同期会欄」や「会員消息欄」を設けてほしいまた、支部表彰なども表彰規定をつくって将来の校友会発展の礎石となるのではとの意見があった。

これに対し、芦田広報部長より答弁があり、地域、職域、同期とも「北から南から」の懇談であつかっているので、了承願いたい、また会員消息もできるだけ載せてはいるが今後とも努力したい、また他の校友で機関紙を知らない人々には「関大」という機関紙の存在をぜひ知らせてほしい。そして終身会費の納入を勧めてもらいたいとの要望があった。また、表彰制度に関しては、田村総務部長より校友会に表彰という制度はないが、常議員会でそのつど団体、個人に関して決議していて校友会としては本来、団体に対しての表彰から始まった。この基準としては形式的だが十年以上に亘って毎年総会が開かれていること、個人に関しては、団体基準に合致するような団体の代表者に対して考えている。制度確立に関しては、樫本会長より、やはり規定を作りたいという意見があり、そうあるべきだと思うので常議員会で検討したいと思うと述べられた。

次に組織運営に関する要望が天六同友会の幹事の西庄氏より、よほどの報告、要請事項がない限り、原則として代議員会での理事長、学長の挨拶はやめようと言うのではないができるだけ割愛し、審議事項にもっと時間を掛けるべきだ。また、代議員改選に当っては、基準ルールを予め明確にしてから選出されるべきである。

そして、創立百周年記念事業のために「対策協議会」とでもいうべきものを、もう来年度あたり発足させてはどうかという要望があった。

樫本会長はこれに対して、できるだけ考えてみたいと述べ、とりあえず現在は九十周年があと百日にせまっているのでそのほうもよろしくお願いしたいとのことであった。

最後に天王寺支部の幹事長高橋氏より、九十周年募金に関して質問があった。また、京都支部長の木下氏よりも募金はどういうものに使うのかという具体的案を示してほしいとの要望があった。これに関しては本紙面募金に関する項を参項にされたい。

出席代表者名簿

【地域支部】47団体63名
▽岡山支部長 白羽弥三 ▽神崎伝次郎▽愛知支部長 白羽弥三 ▽副支部長 野瀬廣▽三重支部長 三宅克也 幹事長 伊藤智張▽南勢副支部長 森田禎章▽京都支部長 木下忠夫▽姫路支部長代理 津田元吉▽神戸支部長 山崎敬義▽芦屋支部長 田辺由治郎 副支部長 松島浩▽伊丹支部長 尼崎市副支部長 松島浩▽伊丹支部長 安井章吾 副支部長 田原孝平▽川西支部長 高橋道郎▽宝塚副支部長 渡辺敏泰▽西宮副支部長代理 津奈樹▽香川支部長 徳田恒光▽旭副支部長 吉田泰高▽阿倍野支部長 小島龍太郎 副支部長代理 関矢貢一郎▽生野支部長 山本景造 副支部長 細川嘉彦▽住吉支部長 多賀谷宏▽住之江副支部長 宗平又天王寺幹事長 高橋重光 副幹事長 村上武夫▽浪速支部長 藤岡信雄▽西成副支部長 中西正充 幹事長代理 野瀬廣▽東淀川副支部長 三宅良司▽平野支部書記会計 日野上輝夫▽港副支部長 桝野伊兵衛▽南幹事長 尾崎正三▽都島副支部長 山野譲五郎▽和泉支部長 西口喜一郎 副支部長 吉田利彦▽泉大津支部長 横山正▽茨木顧問 梶栄▽河内長野支部長 堂浦鈎爾 副支部長 山田清▽寝屋川支部長 荒川虎一郎▽堺支部長 井上竹蔵▽吹田支部長 植垣幸雄▽高石支部幹事 杉本厳 副支部長 高田芳郎▽羽曳野支部長 藤井寺支部長 林信夫 副支部長 堀川国一▽東大阪支部会計幹事 川崎宗一▽枚方副支部長 大守清一▽箕面支部長 野村吉治▽守口支部長 本多喜慶▽八尾副支部長 糟谷武夫 副支部長 辻村道雄

【職域支部・会】27団体38名
▽大阪市役所支部幹事長 山下昭久▽大阪国税秀麗会幹事 宮崎一也▽近畿郵政関大会幹事 細谷幹夫▽鹿島建設芦の葉会 村上精三▽近畿特定局関大会幹事 大森俊次 理事 池川浩▽大阪営林局関大会会長 新江悟 幹事 中島武司▽神戸市役所関大会幹事 大角喜一▽堺市役所関大会幹事 中村幸夫▽吹田市役所関大会副会長 村田幸助 幹事 田中正明▽寝屋川市役所千里会会長 土肥忠幸▽東大阪市役所下筴会会長 竹田達郎 副幹事長 東野男▽柏原市役所関大会幹事 青山吾郎▽守口市役所純正会会計幹事 今西多津雄▽高槻市役所幕友会幹事長代理 山中卓▽西宮市役所秀麗会代表幹事 岸昭▽マスコミ関大会幹事 進藤浩二 幹事 高岡幸雄▽鐘紡鐘秀会幹事 佐々木一道▽大阪ダイハツ柴秀会会長 当麻豊治▽大阪マツダ千陵会会長 森島信男▽山陽電鉄関大会幹事 久保明幹事 田田治▽そごう関大会会長 望月康▽大阪市中学校教員尚志会会長 植田秀男 前会長 青木奈良一▽尼崎市教職員関大会会長 大田一男▽関大法曹会副幹事長 和田栄市▽関西大学志窓会会長 上田高徳 幹事 石川昌司▽大阪司法書士関大会会長 竹田擬司▽弁理士関大会会長 中尾房太郎 副会長 森本義弘 ▽関大不動産鑑定士クラブ副会長 小川実 世話役 中野英満

【関大会】21団体27名
▽十三会幹事 頓戸勇▽はじめ会幹事 野瀬騰 幹事 石浜道夫▽昭三会会長 伊東太平▽千里山会 和田栄太郎▽尚志会代表 山田清太郎▽昭五会幹事 尾坂照雄 幹事 西村剛▽昭六会幹事 福原菊治郎▽甲成クラブ代表 藤田令允▽関大十二会会長 栗坂論雄 幹事 平沢農一▽桃源学士会会長 岩本公夫▽飛雲会代表 富田淑郎 事務長 信本松夫▽千里山十八会幹事 苗村七郎 幹事 牧野雅男▽千里会幹事 西脇吉幸▽三三会会長 北尾郁之介 副会長 鷲本喬三▽関大二四六会会長 郭長城 副会長 森正十之▽二六会会長 田中幸治 代表幹事 福竹益男▽五七会幹事長 宇野貞一郎 副幹事長渡辺彦四郎▽祥久会 小島龍太郎▽昭八会荒川虎一郎

【関係校友会】6団体9名
▽大学院修士会会長 佐々木砂夫 副会長 松井信雄▽短期大学同窓会理事 葛谷 源▽関甲クラブ会長代行 吉田八郎 会計 木村昌二▽二高同窓会 会長 逢坂勝見▽一高同窓会麗閥霞沢 勲 副会長 北村 博

【各種団体】8団体10名
▽体育OB会会長 岩佐清三郎▽千成会会長 片岡恒次郎▽スポーツマンクラブ会長 村林隆夫▽天六同友会会長 金本勲一 幹事長 西庄俊三▽年輪会副会長 湯川桝三▽関友会長五郎 副会長 池田文一 幹事長 大山幸輝▽同友会会長 金長松▽二部応援団OB会会長 阿藤英士 以上

お時間拝借

校友あれこれ対談

—45—

聞き手 吉田三七雄

小崎氏ご夫妻

小崎土地興業株式会社 代表取締役 小崎健新氏 夫人 茂子さん

いろいろありました同期生の『夫婦善哉』

吉田 同期だそうですね。

小崎・夫人(声をそろえて)そうなんです。

吉田 同期で、しかも、どちらも法学部ということになると、いわゆる知れた、恋愛結婚というわけですか?

小崎 まあネ。(笑い)

夫人 そう、そうです。(笑い)

小崎・夫人(声をそろえて)そうなんです。

吉田 随分長いことこの対談をやってるんですが、おふたり揃ってというのはこれが最初でしてねえ。いや、どうも勝手が違っていけませんなあ。(笑い)まあひとつ、のんびりやらせてもらいましょう。(笑い)

吉田 それから結婚?

夫人 いえ、なかなか。(笑い)まだまだあとになるんです。

小崎 さっきいいましたように、父がなかなかワンといって呉れないんです。

夫人 そのうちに、だんだんお父さんも年寄ってきやはるし、気も折れてきやはりましたが、結婚するまでに十年待たされました。

吉田 よくそこまで辛抱出来ましたなあ。(笑い)小崎さんは奥さんのどこがよかったんです?

小崎 分らんねえ。(笑い)

吉田 さて、そこまで待って結婚した。そのあとはどうでした?

夫人 なかなかうまいこといかずに、何回も出たり入ったりしました。

吉田 出たり入ったり?

夫人 ええ。気分的にどうにもならんとこへ追いこまれて、何回もこうだと思っていても、それがうまく口から出ませんし、困りますねえ。よく分ってるんですが。

夫人 あんた、それほんと?(笑い)体裁のええこといってるのと違う?

小崎 ほんとだよ。(笑い)

吉田 お子達は?

夫人 娘ふたりです。上が九つ、下が五つです。普通だったら、そろそろ孫が出来るぐらいですのに、結婚が遅かったもんですから。

吉田 今はうまくいってるんでしょ?

夫人 お年寄りとも?

吉田 お父さんが亡くなられて、おばあちゃんだけですから。

小崎 母もひとりになってからは、なにもいわずに気楽に遊びまわっています。

夫人 いまもお友達と沖縄へ行ってはりますねん。

小崎 若い人ばかりのグループに交って、グァムやサイパンまで行ったこともあるんです。こんとは世界一周したいなぁといっているぐらいです。

吉田 それじゃ、お家方々歳というわけですねえ。ところで、奥さん、いまご主人に対して、こんなことをしてほしいというご希望はありますか?

夫人 いっぱいあります。(笑い)いえ、ほんとです。

吉田 どんなこと?

夫人 まず、みんなと一緒に晩ごはんを食べてほしいんです。

小崎 仕事が忙しくて、そうはいかないんだよ。

夫人 そうれ、またこれでしょ。(笑い)家で晩ごはん食べるのは月に三回位なんです。それに、えらいワンマンでしてねえ。勝手なことばかりいうんです。同期生のクセに。(笑い)

吉田 男って、みんなそうですよ。ご主人だけじゃありません。わたしも同じことです。(笑い)それじゃ、小崎さんから奥さんになにかありますか?

小崎 いえ、別に。黙ってまかしておけばやってくれてるので、安心しているんです。

吉田 暑いのに、ますます暑くなりますから、この辺でやめときましょ。(笑い)

……

小崎健新(おざき・けんしん)
小崎土地興業、小崎住宅産業、南海企業株式会社・取締役社長
昭31年大法卒、同33年院修法
小崎茂子(おざき・しげこ)
旧姓・表茂子、昭31年大法卒

関大は八億五千万円

四十九年度の国庫補助

七月二十三日、文部省は私立大学・短大に対する、四十九年度の経常費補助の実態を示した「私大助成白書」を発表した。関大は関西では最高の八億五千三百十三万の交付を受け全国で第十位(昨年十五位・五億一千万)であった。

交付金総額は前年度より二百七十七億二千六百万円多い七百八億九千九百四十二万円で、全国の私立の大学、短大、高専七百三十六校のうちの六百七十二校に配分された。

トップは四十五年度に私大経常費助成がスタートし以来連続の〝マンモス大学〟日大で三十五億四千万、ついで慶応(二十五億円)早稲田(二十億八千万円)・明治(十億円)(十二億万円)・東海大学理大(九億二千万円)・中央(九億二千万円)・東京慈恵医大(九億円)・関大の順。

長谷川幸延氏の「浪速夜話」

関西大学経済人クラブ例会

関西大学経済人クラブ(会長岡野衛士氏)第五十回例会は、七月九日午後五時半からホテルプラザで開催された。

七月は大阪の祭り月とて、政治経済の問題から逃れ、今回は趣向をかえ、作家長谷川幸延氏を招き「浪速夜話」を聞いた。

元禄時代は、金銭万能、酒色至上がはびこり、江戸の吉原、大阪の新町、京の島原を筆頭に、全国の港、宿場、社寺の門前まで妖しい遊里がひしめき、当時の番頭、手代どもは、工夫をめぐらせ無理算段をして通いつめる。

生娘ならば心のあかしに、体を許せば事足りるが、大夫たちでは、心のあかしに爪をはいだり、髪を切ったり、指を断ったりなどしたものだ。最高の心のあかしは、命あげますという心中である。それは殺人ではなく心中だである。

近松門左衛門はもと侍であり、京都の一条家に仕えていたが、金か、あるいは女のためか、主家をしくじり浪人となり、元禄の妖しい魅力を書きつづけ、同じ時代の西鶴とともにその名作は人々の心をゆさぶった。

森で、内本町将油屋の手代徳兵衛と、北の新地の女郎お初との心中を物語ったものである。往昔、北の新地曽根崎の遊廓は曽根川に沿って、現在の桜橋から蜆橋の一角にあった。

「何時までも生きていても同じこと、死んであかしを立てましょうぞ」追いつめられた二人は「心も夏の夜のならい、命追わるる鶏の声、明ければ嬉しや天神の、森で死なんと手を引いて、死にに行く身をたとうれば、仇しが原の道の露、一足づつに消えてゆく」と死出の旅路をたどっていく—……

「曽根崎心中」は曽根崎天神の森で、内本町将油屋の手代徳兵衛と、北の新地の女郎お初との心中を物語ったものである。往昔、北の新地曽根崎の遊廓は曽根川に沿って、現在の桜橋から蜆橋の一角にあった。

「何時までも生きていても同じこと、死んであかしを立てましょうぞ」追いつめられた二人は「心も夏の夜のならい、命追わるる鶏の声、明ければ嬉しや天神の、森で死なんと手を引いて、死にに行く身をたとうれば、仇しが原の道の露、一足づつに消えてゆく」と死出の旅路をたどっていく—……

大近松不朽の名作である。

天神さんにいやしい女郎お初の名をつけ、いまもお初天神と呼ばれるように、人の心をゆさぶった。現在、二人の心中のゆかりの地として、お初天神境内に小さな碑が建っている。

長谷川幸延氏は、曽根崎生まれの生粋の大阪育ち、その諧謔的なムードと、洒脱な話術に聞く者を陶酔させた。

行事と集い

- **北九州支部総会** 8月19日(火) 午後6時 千房ホテル
- **福岡支部総会** 8月20日(水)午後6時 博多都ホテル
- **関西大学千成会創設15周年記念祭** 9月5日(金)午後5時半 大阪桜橋サンケイホール
- **八尾支部総会** 9月6日(土) 午後六時 大黒殿
- **大阪中央市場青友会総会** 9月13日(土)午後1時 中央市場本館4F集会室

葬の雫

八月十五日が、またこともめぐってきた。昭和二十年の〝終戦の日〟を、体験した同窓諸氏は、おそらく終生忘れえないであろう▼あれから三十年の歳月が流れ去った。「アジアの諸民族に、それぞれ所をえさしめる」も、名文の一つに掲げての大東亜戦争で、それを信じて海で、陸で、また空での戦闘で果てた多くの青春の魂に、黙祷を捧げずにはおられない。そして、亡き同窓のあの顔、あの頃のヤマ(千里山学舎)での、また天六学舎での、あの面影を思い浮かべる▼多くの戦後の同窓にはカカワリないこと、と思われるだろうが、戦時中の学生生活も九十年の関西大学の歴史の中で消すことのできない一時期であった。ことに昭和十六年十二月八日、大東亜戦争の空戦から終戦までの間は、さしずめいまの韓国の大学や高校のような緊迫感が、日本のどの学園にも満ちあふれていた▼城東線(いまの国電環状線)の天満駅から、天神橋筋を歩いて天六の新京阪駅(現在は地下鉄堺筋=阪急北千里線の地下駅にかわっている)—千里山線で大学前、というのが私の通学コースだったが、〝宣戦布告〟を天神橋筋の商店街で、流れてくるラジオ放送で聞いて、ヤマにつくと、最高学生の三年は、その日に〝繰り上げ卒業〟が決まるあわただしさ▼それから毎月八日が大詔奉戴日で、学長以下教授方は、カーキー色の国民服で、全学生の分列行進を〝閲兵〟。学生は、学徒奉国隊に組織され、体育各部のほかに、戦車、飛行機、銃剣術などの部も活発になった軍国主義の時代であった▼学生にとっては、卒業は即、出征。それは生還を望むべくもない決死の戦場に行くことであった。〝人生五十年の半分〟を天命と自らにいいきかせながらの学生生活は、それだけに貴重の自由と、研鑽の一日一日であった。十七、八両年は卒業は半年繰り上げ、十八年秋には〝学徒総出陣〟となった▼当時の学生の愛読書に哲学や経済学まで〝生の〟とついた本が多かったことは、人生への熱烈な希求の反映でもあった。それにつけても思い出されるのは、戦場に消えた同窓のことである。

プレゼントのお考えはきまりましたか。
ビジネスバッグ・旅行カバン
GIFT 贈答好適
サイフ・ハンドバッグ・カバン専門卸
ご一報者にカタログ急送
K.K廣島屋本店
取締役社長 蔵田廣造
(昭和25年 経済学部卒)
〒541 大阪市東区博労町1—26
TEL 06—261—2431

カタノヨイ カタノコラヌ カタノクズレヌ カタノ洋服店
最高のおくりもの カタノ紳士服
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜通
電話大阪(231)〇五六五—七
大阪駅前店 第一生命ビル 専門大店
電話 大阪(341)〇七九二
上六近鉄百貨店紳士服サロン テーラーカタノ

運転免許は校友がお世話する
大阪鶴見の
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市鶴見区緑3丁目2—13
〒538 TEL(06)912—7171
担当 太田清太郎(昭29.学2法)
優待 関大 証
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

National
ベルやブザーの配線を利用できる 2線式
屋外に「ドアホン子機」ナショナル独自の「リードスイッチ」を採用。
室内に「親機」子機からの呼出しに受話機をとるだけで通話のできる「同時通話式」
VL-165 ¥16,900 (電灯線式親機1台、子機1台)
VL-166 ¥15,600 (乾電池式親機1台、子機1台)
●信頼性 特にドアホン子機は、ナショナル独自の「リードスイッチ」を採用。雨やホコリ、サビに強く長持ちします。
●取付け簡単 既設のベル・ブザーの配線の利用もできる「2線式」です。
ナショナル玄関電話 ((電子チャイミー)) 2線式
松下通信
●お問い合わせは…ナショナル通信機器(株)
本社 大阪市都島区中野町3-8-14 〒534 電話(06)352-2171
神戸営業所 神戸市葺合区御幸通2-6 〒651 電話(078)231-6141
ホーム用インターホンと言えばこれ! 当社自信の推奨機

冷暖房換気設備工事
給排水衛生設備工事 設計並びに施工
株式会社 大阪城口研究所
取締役社長 城口庸平
本社 大阪市北区高垣町一番地
電話 大阪 三七二局七一五一番(代表)
京都支店 京都市東山区大和大路正面上ル
電話 京都 五六一局四九四四番(代表)
神戸出張所 神戸市生田区下山手通六丁目一番地
電話 神戸 三四一局 五八九二番

●サラリーマンの財産づくりに—
ダイワ 財形信託
●天引きで貯めやすい
●高利回りの信託
●積立金は1,000円から
●優とは別枠で 500万まで無税の特典
長い人生——頼りがいある銀行を持つべし。
大和銀行

北から・南から　各地支部だより

90周年を機に再建

10年ぶり総会開く　マンモス吹田支部

校友会吹田支部（支部長植垣雪雄氏）は、在住校友四千名を越え、神戸の七千名につぐマンモス支部であるだけに、運営には苦労があって長いこと停止状態であった。それが母校の創立90周年を機に、七月二十九日午後六時から、アサヒビール吹田工場「ビヤホール」で十年ぶりに総会を開いた。参加者約一〇〇名、通知が遅れて案じられたがさすが、大支部である。

坂井満幹事の司会で、坂本副支部長の開会のあいさつについで植垣支部長は長いこと支部総会を開かず申しわけない。責任は重々感じているとの挨拶があり、坂本隆雄幹事長からも、今までの経過報告があった。

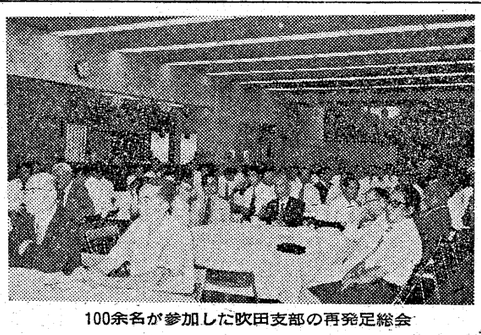
議事では、役員人事について、佐々木副支部長から、現執行部が責任を果たさなかった責任を果させるために今回は残存を承認していただきたい、と提案があり、上西氏ほか、二、三の質疑、意見があってのちこれを承認。幹事の増員は、校下別、出身年度など勘案して支部長から委嘱することになった。

なお、90周年事業募金については、現執行部に課せられた大きな責任であると支部長所信を表明せられた。

樫本校友会長は、母校の90周年にマンモス支部が再建されたことは喜こばしい。母校地元の支部として、堅実に発展され90周年募金には、挙ってご協力願いたいとのあいさつがあり、明石学長からは、くわしい学内情勢について報告があった。

最後に佐々木副支部長から、支部役員幹部は責任を痛感し、みなさんのご期待に応えるよう努力したいとの閉会のあいさつで総会を終了。

第二部は八沢倶好先輩の乾杯ではじまり、真夏の夕、ビール工場のビヤホールは、校友の交歓場としてこきわい、学歌を斉唱して八時半散会した。


100余名が参加した吹田支部の再発足総会

新生のスタートを切った栃木県支部の総会

栗山支部長再選　相生支部総会

校友会相生支部（栗山信男支部長）の昭和五十年度総会は六月二十七日午後六時から市内新光ビル二階会議室に、校友会本部坂本副会長、藤本事務局次長を迎え、会員二十一名が賑やかに年一回の懇親の実を挙げた。

総会は松田幹事の司会で開会。栗山支部長から「同窓は人間関係に稗益することが多い」と体験談を交え挨拶、続いて坂本副会長から今秋の母校創立九十周年記念祭について、また平素の交誼を謝した。

会計・庶務報告のあと中心議題である役員の改選では栗山信男氏（昭18専法・相生市助役）を再選した。

懇親会では、播信、市役所に勤務する校友がグループ参加し四十名中二十一名が出席、相互交流を図った。支部役員は次の通り。

【支部長】栗山信男【副支部長】松浦延哉【代表幹事】大屋敷一允【幹事】三住浩文、船曳成章、前田寿、松田年晴、藤田和夫

「飛雲会」春季例会

昭和五十年度「飛雲会」（昭16専二商グラス会）春季例会は五月五日午後五時より新緑の映える宇治川沿の宇治川荘において開催。同所に一泊過去と将来を語り、翌朝解散した。

出席者は角田義雄、富田淑郎、久武、信本松夫、徳平代又一、道浦一衛、南部栄三郎の七名。今回の会場の設営も西脇吉幸氏のご尽力によるものであった。

次回は、本年秋母校創立90周年記念行事のある十一月頃、大阪で同所に一泊過去と将来を語り、翌開催の予定。（信本記）

新会長に井上和彦氏　尼崎市役所秀麗会が総会

今年四月尼崎市役所に新採用になった本学卒業生十五名を含め、職域会として優秀な組織運営を続けている尼崎市役所秀麗会では、昭和五十年度新採の歓迎を兼ねた定時総会を、七月十八日午後六時から尼崎市立労働福祉会館に約二百名参集し盛大に開催した。

総会は小西卓爾氏の司会で、庶務・会計を承認のあと、中心議事の会長選出にうつり幹事会推挙の井上和彦氏（昭27経・市民生活局長）を満場一致で選出、また前会長井上一秋氏を顧問に推戴することに決定した。

当日は母校から学長代理野崎治男教学部長が地方父兄懇談会で多忙のなかを出席。「時代に即応し時代をリードする教学方針のもとに内容の充実を図っている」と近況を報告。本部から坂本副会長、藤本事務局次長も出席、母校創立九十周年記念祭のほか、関連協賛事業への協力を要請した。

このほか地元尼崎支部松島副会長、市議団から原田水信、中村忠法、日下章の各校友が来賓出席された。

前期の一年を羽賀支部長で　天王寺支部総会

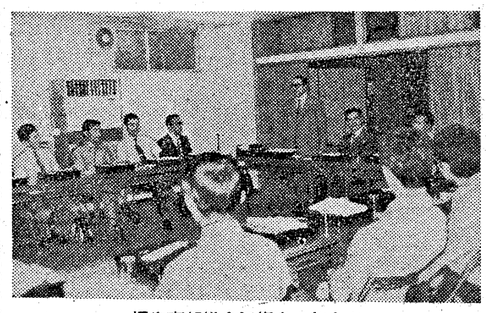
天王寺支部（支部長羽賀一郎氏）では、第二回定時総会を、七月二十二日午後六時から、区内寺田町「月華殿」で開いた。

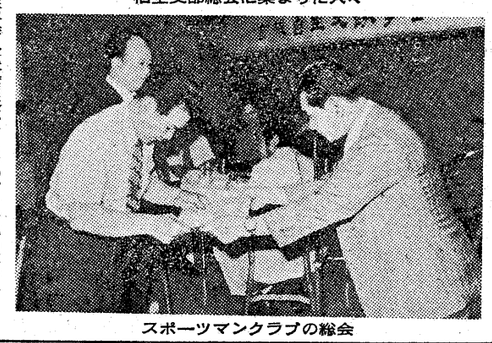
高橋幹事長の司会で、羽賀支部長は、母校の創立90周年を迎え、母校でも、校友会でも記念事業や行事の計画がすすめられるので、支部として全面的に協力したいとのあいさつがあり、山田副支部長から、昭和四十九年度中の事業報告と、会計報告があって承認された。

任期満了による役員の改選は、全役員再任となったが、支部長羽賀氏は、母校の周年行事の責任を了して一年で辞任し、後任支部長山田栄一副支部長が昇格し、同時に役員の副支部長高橋幹事長、幹事長に小西丞氏を選任することに決定した。

校友会副会長坂本亮天氏から、90周年記念の行事並に募金計画について説明され、協力要請された。

支部の大先輩近大理事山口定龍氏（大6法・近大創立関係者）から、近大と母校関大のそれぞれの異性などについて興味深い話をうかがうことができたのは収穫であった。


相生支部総会に集まった人々


スポーツマンクラブの総会

人吉、福岡からも参加　熊本支部総会

母校関係者迎え盛大に

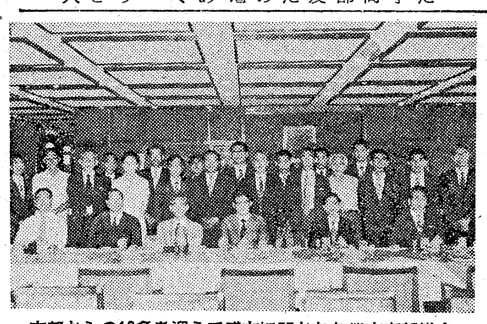
校友会熊本支部（藤井計吾支部長）では、母校教育後援会熊本地区父兄懇談会が開かれるのを機に、六月三十日、午後五時半から、市内阿弥陀寺町「ニュースカイホテル」を会場に約四十名が出席して盛大に開催された。

本総会には、母校から学長代理野崎治男教学部長、法学部長高島義郎教授、法学部事務長有福健氏（校友会広報部役員）が、また校友会本部から大島武夫副会長、藤本事務局次長がそれぞれ参席したほか、地元教育後援会熊本支部から岡崎相談役をはじめ永淵、中庄為、淵上、川上、緒方の役員諸氏ら多彩な顔触れの出席を得て閉会。

斉藤猛副支部長の司会で、まず藤井支部長挨拶のなかで、吉田鹿之助当時熊本国税局長（大13専法）小泉博当時日生支社長（昭7大法）の両先輩の指導のもとに戦後、支部を結成、現在まで在学生を交えて年一度、支部懇親会を持っているが、母校関係者を迎えての本総会は支部の名誉とするところであると歓迎のことばを述べた。

続いて野崎教学部長、大島副会長から創立九十周年を迎えた母校について近況を報告、祝宴に入った。

懇親会は、岡崎教育後援会相談役の発声で乾杯。洋食コースをとりながら自己紹介を行い、遅るか人吉から球磨焼酎「峰の露」の社長堤氏のほか、岩嵩、中村氏が、また福岡市など半日かかりで出席するもの、その他関大陸上OBでオリンピック出場選手上砥氏も元気な姿を見せられ、母校関係者を交え非常に有意義な総会であった。


本部からの10名を迎えて盛大に開かれた熊本支部総会

久々の総会に多数の校友が集うた徳島支部

遠く母校を偲ぶ

栃木県支部結成に20名集う

関西大学校友会の栃木県支部は六月二十九日、宇都宮市ニューイタヤで、本部から組織部の木藤安之氏を迎えて初めての会合が持たれた。

栃木県は関東の北のはずれにあるので、とかく母校とは疎遠がちであった。これまで校友の横の連絡はまったくなく、それぞれの立場で孤軍奮闘をして来た。そこへこの会が持たれたので、なつかしさに胸躍らせて馳せ参じた風景は他にみられぬものであった。

確認された二十七名中二十名が定刻の一時に集まった。七十三歳の片岡幸三氏（S6）を筆頭に（S28）の若者までの各層であるが、各所の要職にある人も数々ある。

まず世話役の田中惣吉氏（S10）からこの会の成立までの経過報告があり、次に出席者の自己紹介があった。自己紹介には各自所感をつけ加えた。誰もが、関大卒業生は県下で自分だけと思ってさびしく感じていたという。また関西出身者は土地柄や言葉での苦労話が出た。しかしこんなに同志いるということがわかって何よりも心強い、今後はお互いのため団結して助け合い、母校の発展に尽そうというようなことを述べあった。

木藤氏からは、会長のことばが伝えられ、校友会の近況、母校九十周年行事、事業計画等のご説明があり、支部への力強い励ましの言葉をいただいた。

役員については満場一致で田中惣吉氏が支部長に推せんされた。

その後片岡氏の音頭で乾杯、懇親会に移り、顔を知らなかった人たちも一体となって歓談尽きるところがなかった。記念撮影後午後四時名残りを惜しみつつ次回を約して閉会となった。

なお、この会が持てるに至った経過を記さなければならない。宇都宮市在住の田中氏はたまたま同級であった本部の木藤氏から支部結成の連絡を受けた。しかし校友のいることさえ全然知らなかった氏は、名簿によって四十名ほどの名前を知った。その名簿を部に電話連絡したが、転出の人などもあり、二十七名を確実につかんでくれた。たいへんな苦労であった。その後宇都宮在住の数人が集まり喜んで協力し準備することができた。田中氏の絶大な努力と発起人の協力に感謝する次第である。

―小野田（S9）記―

糸数支部長（左）と筆者

めんそーれ沖縄へ　―海洋博開会式・列席報告―

東浦栄一

「海―その望ましい未来」をテーマとして、沖縄のオーシャン・エキスポが開幕した。

七月十九日午後二時、開会式はくっきり晴あがった亜熱帯の青空と松の緑、コバルトグリーンのサンゴ礁の美しい海に囲まれた会場内のポートサイド・シアターで開かれた。

ご臨席の皇太子殿下のお言葉は洋少年団員の手で国旗が掲揚され続いて海上警備艇「はくよう」で海から国際旗と海洋博旗が入場B・I・シャロン代表より大浜会長に手渡された。ステージ近くの道路と海上警備艇の鼓笛バンド隊の、にぎやかなドラムマーチの応酬で、式典はクライマックスへ。それから、かけ声も勇ましく平和への祈りをこめたハーリー船とサバニ船団の、パレードがあった。

「海のかなたは神秘に包まれており、そこに人々は幸福をもたらす〝にるやせち〟（霊力のこと）を求めました。おもろさうしには〝唐南蛮寄る合う那覇泊〟と、当時の姿が描かれています。幾多の苦難の道を歩んできたこの沖縄に海を主題とする平和の集いが開かれようとしています」

さて開会式は、ステージ中央ポールに六人のかわいらしい沖縄海世界で初めての試みであるオーシャン・エキスポは、かくして開幕された。

ところで、開会式に出席ところではないという数多いオイソガ氏の中に、法人ビルメンテナンス協会役員で、博覧会の整備本部長・糸数哲夫氏（校友会支部長）がいる。

エキスポ運営の重要な役割を果たす同本部を訪ね、その熱気ムンムンの執務ぶりに頭が下がった。氏は六百人の人達を動員、地元の有力者と連携し、正に不眠不休の働きである。

糸数氏は語る。「この博覧会に多数の校友が参画しております。この沖縄に、さらに多くの後輩ができますよう、関大の現地入試をぜひ実施してほしい」と。

日本には、わが関西をはじめ各地に方言がある。鹿児島や青森の人達の言葉は、われわれ関西人にはさっぱりわからない。沖縄の言葉もそのとおりだ。「めそーれ」とは、参り候えがなまったものである。

校友会事業部で訪沖の計画がたてられているが、筆者は一足先に広報部の特派員?として開会式に列席した。美しい自然と細やかな人情、そこでがんばっている校友がいる―みなさん、めんそーれ沖縄へ。（広報部副部長）

母校関係者10名が出席　徳島支部総会に50名参集

校友会徳島支部（小寺善一郎支部長）の昭和五十年度総会は、小雨降る七月五日午後六時より徳島県郷土文化会館に、明石学長、樫本校友会長ら母校関係者十名を来賓に迎え、会員約五十名が出席して盛大に開催した。

総会は出席者一同母校関係者と記念撮影のあと、三橋幹事長の司会の下に、まず学歌を斉唱し同窓ムードの盛り上る中を開会。小寺支部長から母校関係者歓迎の挨拶と支部の実情について紹介があった。（在住校友数は四百名を越え常時連絡のとれる校友は二百余名を数えている……）

当日は毎年盛会をきわめている母校教育後援会の徳島地区父兄懇談会の前日に当たり、母校から明石学長、亀井理事、野崎教学部長、前田社会学部教授（本県出身）、毛尾法学部事務室主幹、松本社会学部事務室主任、木下就職課主任が来県を機会に本総会に参席、また校友会本部から樫本校友会長、藤本事務局次長が出席され、まことに多彩をきわめた。

当日は来賓を代表して明石学長から母校の近況、樫本会長から校友会本部の近況を報告。創立九十周年を迎える母校の躍進ぶりを話と資料冊子で知り、ともに感慨を新たにした。

懇親会は本県出身の原田聖二教授の発声による乾杯で幕開け、広い会場もところ狭しと交歓の場をまことに意義深い本年度総会となり、中田副会長の音頭で万才を三唱し散会したのは九時ごろであった。

新会長に村林隆夫氏　関大スポーツマンクラブ総会

藤本校友会事務局次長の来賓の各先生を初め、最古参から今春卒業したばかりの体育会OBの諸君たち。指揮現役応援団長。時は七月二十六日午後七時前。所は梅ケ枝町大東方。

昨日までの連日の雷雨はこの日はなく、幸先よい関大スポーツマンクラブ総会が開催された。

これより前、六月十三日に顧問、参与、幹事を含めた役員会長が出席され、まことに多彩をきわめた。

当日は来賓を代表して明石学長から母校の近況、樫本会長から校友会本部の近況を報告。創立九十周年を迎える母校の躍進ぶりを話と資料冊子で知り、ともに感慨を新たにした。

懇親会は本県出身の原田聖二教授の発声による乾杯で幕開け、広い会場もところ狭しと交歓の場をまことに意義深い本年度総会となり、中田副会長の音頭で万才を三唱し散会したのは九時ごろであった。

新入会員のうち体育本部役員であったもの若干名が事務局付書記の役割。

◇消息◇

▽芦田　定男氏（昭18大政・校友会広報部長）毎日新聞論説副主幹から八月一日付で財団法人毎日新聞大阪社会事業団常務理事に出向▽金　景勲氏（昭42院博工・常議員・関大講師）去る六月、日本に帰化して沢　勲と改名、オランダにおいて開催の国際結晶学会に出席のため八月二日羽田を出発した。

内外国
特許・商標・出願全般
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
大阪市西区西長堀南通一丁目九番地　藤村ビル二階
地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央出入口南
四ツ橋交叉点南50m東側
電話　大阪（〇六）七四三一～七四三四
（五三二）七四三五（所長宅）

大阪市西区江戸堀北通二丁目二十五番地（とみたビル）
電話（四四一）二一〇〇・三九四四（四四三）六一五〇
大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島泰甫

赤川公認会計士事務所
公認会計士　税理士　赤川松雄
大阪市浪速区桜川一丁目一〇七〇
電話（561）五一六七～九

公認会計士　浅野照雄
大阪市淀川区西中島六丁目
第七チャンマンション新大阪一階

公認会計士　税理士　浅山敏夫
尼崎市昭和通二丁目六七
電話〇六（481）一七四四
五七七二・八三三二

税理士　井口秀雄
神戸市兵庫区荒田町二ノ一
電話〇七八（511）〇五三六

公認会計士　税理士　石川昌司
大阪市東区谷町一丁目二七
大阪オルガンビル八階
電話（943）六三五八～九

川口清会計特許事務所
税理士　弁理士　川口清
大阪市北区今井町一番地
電話（363）一一三九五

公認会計士　税理士　上田高嶺
不動産鑑定士
大阪市北区伊藤ビル二階
電話（312）九六七一～二

公認会計士　税理士　上田義雄
大阪市福島区大開町一ノ四三
電話（462）八一六一（代）

税理士　川又頼政
大阪市西区二佐堀通三ノ六一
電話（443）三一八九一

公認会計士　税理士　木下栄繁
和歌山市小松原通一丁目一番地
電話〇七三四（24）一三二四（代）

中谷公認会計士事務所
公認会計士　税理士　中谷政男
大阪市南区難波新地二番二六
電話（213）〇三七八（代）

公認会計士　税理士　中尾勝二
大阪市南区安堂寺橋通四ノ一
トミオビル（心斎橋筋）
電話（252）〇八八一（代）

税理士　谷口実直
大阪市南区南空堀町二番地
新空堀ビル三〇四号
電話（763）〇三〇四（代）

公認会計士　税理士　篠田要
大阪市浪速区日本橋東三ノ一四ノ五
電話（633）〇八二九・（641）六四〇二

篠田会計事務所
公認会計士　税理士　堺博
〒556　大阪市浪速区新川三丁目23ノ三
南大阪ビル
電話（633）二七一五（632）二一二七

島津会計事務所
公認会計士　税理士　島津徳三
〒559　大阪市住之江区安立四丁目
電話（678）三一〇三番二号

公認会計士　税理士　柿本鳳三
大阪市天王寺区松ケ鼻町一五七
電話（771）〇八二一・〇八二二・六二六一

公認会計士　税理士　加茂三郎
大阪市大淀区大淀中一ノ一七
電話（451）四二一〇三（代）

加茂公認会計士事務所
加茂コンピューター会計事務所

コンピューター会計事務所
税理士
大阪府議会議員
民社党大阪府連副委員長
奥村肇

公認会計士　税理士　坂井忠男
大阪市東住吉区田辺西之町一ノ六
電話（733）四六三一～七
自宅（971）一〇六八ノ五一
電話〇七二一（73）一〇六八一〇四

税理士佐々木六三郎
京都市上京区油小路通
下長者町下る
電話〇七五（451）三六四三

公認会計士　税理士　国分吉広
大阪市天王寺区大道一ノ二ノ三
電話（7977）〇九一五一（代）
夜間　〇九一八一（代）八

公認会計士　郡栄作
大阪市大淀区本庄中通二ノ一五
電話（371）一〇六六・〇三四〇

公認会計士　税理士　北浦資生
大阪市淀川区西中島一丁目
電話（302）二一七一二二二四

公認会計士　税理士　久保正信
神戸市生田区再度筋町五四
電話〇七八（341）七八四九
八八〇九（夜）

公認会計士　事務所
税理士　梅井龍一
堺市向陽町一丁目四ノ六
電話　堺（38）七二一（代）

公認会計士　税理士　江本弘
大阪市淀川区西中島三丁目二三ノ
電話（304）三〇三〇・三五六一
自宅　茨木（27）三一八五二

公認会計士　税理士　植田穣
不動産鑑定士
東大阪市若江本町四ノ八ノ一〇
電話（72）七六八七

日本公認会計士協会近畿会
北部会事業部長
公認会計士　中橋徳蔵
大阪市北区老松町三ノ二二
昭和ビル三号
電話（361）三四六四

公認会計士　税理士　西田幸雄
京都市中京区新町通二条上る
電話〇七五（241）二二三八

公認会計士　税理士　西尾一夫
大阪市南区大宝寺東之町四五
奥田ビル
電話（245）二一〇三五

公認会計士西尾一夫事務所

公認会計士新田正治事務所
公認会計士　税理士　新田正治
大阪市旭区新森二丁目二番九号
電話（953）一六四三・〇三〇

則岡税務会計事務所
税理士　則岡祥三
大阪市北区鶴野町七
電話（371）二六九三
自宅　西宮市苫小牧九丁目
電話西宮（楽園）一番町ノ四三
（36）五八八四

税理士　羽賀一郎

税理士　橋田義明
大阪市北区鳴尾町一〇
自宅　豊中市玉井町一ノ六ノ三
電話（866）三一一四

暑中お見舞申し上げます
校友会計人有志

公認会計士　税理士　大沢文次郎
大阪市西淀川区姫里二ノ七ノ三
電話（474）〇二一二

公認会計士　大川敏雄

大西公認会計士事務所
天王寺データセンター株式会社
〒543　大阪市天王寺区烏ヶ辻町三
電話（772）一八三一

公認会計士　税理士　大森文雄
大阪市天王寺区上本町二ノ二ノ一〇
大岡ビル
電話（762）一二七二・二八九一

公認会計士　税理士　大沢文次郎
大阪市西淀川区姫里二ノ七ノ三
電話〇二一二

公認会計士　税理士　大川敏雄
大阪市天王寺区大道一ノ二ノ三
夜間（7977）〇九一五一（代）八

公認会計士　税理士　郡栄作
大阪市大淀区本庄中通二ノ一五
電話（371）一〇六六・〇三四〇

公認会計士　事務所
久保正信
神戸市生田区再度筋町五四
電話〇七八（341）七八四九
八八〇九（夜）

公認会計士　事務所
税理士　梅井龍一
堺市向陽町一丁目四ノ六
電話　堺（38）七二一（代）

公認会計士　税理士　江本弘
大阪市淀川区西中島三丁目二三ノ
電話（304）三〇三〇・三五六一
自宅　茨木（27）三一八五二

税理士　植田穣
不動産鑑定士
東大阪市若江本町四ノ八ノ一〇
電話（72）七六八七

公認会計士　税理士　北浦資生
大阪市淀川区西中島一丁目
電話（302）二一七一二二二四

公認会計士　税理士　久保正信
神戸市生田区再度筋町五四
電話〇七八（341）七八四九
八八〇九（夜）

公認会計士　税理士　西尾一夫
大阪市南区大宝寺東之町四五
奥田ビル
電話（245）二一〇三五

公認会計士　税理士　上田義雄
大阪市福島区大開町一ノ四三
電話（462）八一六一（代）

公認会計士　税理士　木下栄繁
和歌山市小松原通一丁目一番地
電話〇七三四（24）一三二四（代）

公認会計士　税理士　中尾勝二
大阪市南区安堂寺橋通四ノ一
トミオビル（心斎橋筋）
電話（252）〇八八一（代）

公認会計士　税理士　川又頼政
大阪市西区二佐堀通三ノ六一
電話（443）三一八九一

税理士　川口清
弁理士
大阪市北区今井町一番地
電話（363）一一三九五

公認会計士　税理士　柿本鳳三
大阪市天王寺区松ケ鼻町一五七
電話（771）〇八二一・〇八二二・六二六一

公認会計士　税理士　加茂三郎
大阪市大淀区大淀中一ノ一七
電話（451）四二一〇三（代）

奥村肇
公認会計士事務所
民社党大阪府連副委員長
大阪府議会議員
税理士

公認会計士　税理士　坂井忠男
大阪市東住吉区田辺西之町一ノ六
電話（733）四六三一～七
自宅（971）一〇六八ノ五一
電話〇七二一（73）一〇六八一〇四

税理士　佐々木六三郎
京都市上京区油小路通
下長者町下る
電話〇七五（451）三六四三

公認会計士　税理士　国分吉広
大阪市天王寺区大道一ノ二ノ三
電話（7977）〇九一五一（代）八

公認会計士　郡栄作
大阪市大淀区本庄中通二ノ一五
電話（371）一〇六六・〇三四〇

公認会計士　税理士　北浦資生
大阪市淀川区西中島一丁目
電話（302）二一七一二二二四

公認会計士　税理士　久保正信
神戸市生田区再度筋町五四
電話〇七八（341）七八四九
八八〇九（夜）

公認会計士　事務所
税理士　梅井龍一
堺市向陽町一丁目四ノ六
電話　堺（38）七二一（代）

公認会計士　税理士　江本弘
大阪市淀川区西中島三丁目二三ノ
電話（304）三〇三〇・三五六一
自宅　茨木（27）三一八五二

税理士　植田穣
不動産鑑定士
東大阪市若江本町四ノ八ノ一〇
電話（72）七六八七

公認会計士　税理士　大沢文次郎
大阪市西淀川区姫里二ノ七ノ三
電話（474）〇二一二

公認会計士　大川敏雄

大西公認会計士事務所
天王寺データセンター株式会社
〒543　大阪市天王寺区烏ヶ辻町三
電話（772）一八三一

公認会計士　税理士　大森文雄
大阪市天王寺区上本町二ノ二ノ一〇
大岡ビル
電話（762）一二七二・二八九一

公認会計士　税理士　大沢文次郎
大阪市西淀川区姫里二ノ七ノ三
電話（474）〇二一二

公認会計士　大川敏雄

ご結婚に・ご贈答に……
人形の名門
勝村の人形
をどうぞ!!
《製造直売》
勝村人形株式会社
取締役　森庸行（昭23年法）
■本社　大阪市天王寺区上本町8丁目53番地
☎06（771）2531（代表）
■支店　豊中市新千里東町1丁目3（サンタウン2F）
☎06（831）2665

住友セメント特約店
原田セメント化工株式会社
JIS規格表示工場
泉州生コンクリート工業株式会社
三菱鉱業セメント特約店・新建材の総合代理店
大統商事株式会社
取締役会長　原田重信
取締役社長　原田孝太郎
本社　大阪市北区朝日橋通二ノ十三
電話四六二一一二一二代表
生コン工場　岸和田市上松町三十五番地
電話〇七二四（三九）四六六七番

鉄骨・橋梁
株式会社　春本鐵工所
取締役社長　春本利雄
本社工場　551　大阪市大正区南恩加島町一ノ一五一
電話　大阪（〇六）五五二一四六一（大代）
枚方工場　573　枚方市南中振三丁目三番一号
電話（〇七二〇）三一四三二二
東京営業所　150　東京都渋谷区神南一ノ一一ノ一六アジアビル四階
電話　東京（〇三）四六三一〇三六一（代表）
名古屋営業所　460　名古屋市中区錦二ノ一七ノ三〇　河越ビル七階
電話（〇五二）二一一一七〇一

営業科目
化学陶磁器部・機械器具部
工事部（耐酸工事・タイル工事・サッシ工事・造園工事）
公害防止機器並に装置
貸ビル・貸マンション
ヤノシゲ株式会社
取締役社長　矢野文雄
大阪市北区梅ケ枝町七一　ヤノシゲビル
電話（364）一〇五〇番（代表）
〇〇五一番（代表）

運動部諸君に告ぐ

千原清治

先日送られ来た「関大」新聞七月十五日号に、気になる記事があったので、急にペンを取って投稿する次第である。

それは「背水の陣で守った伝統」の見出しで書かれた記事の中で「推薦入学が認められなくなって六年を経過した今日ではやむを得ないものであるが」とあることである。推薦入学などということは、フェアプレーをモットーとするアマチュアスポーツに、本来あってはならない不正行為である。既成の強い選手を特別に入学させて強くするなどは、プロの興行であって、これは厳密な意味のスポーツではない。

我々が選手時代には、そのようなことを考えたことは全くなかった。

・あの文章にもあった通り、選手である前に学生であり、しかも学業は、年間を通じてほとんど休みなくやった。月々火水木金々はもちろん、夏休みも高野山に合宿してやったものである。

私ごとで失礼だが、後輩諸君のそのような方針でやった。

しかも大阪学生柔道連盟では、十人の団体試合で十対〇または十対七・八の成績で優勝し、全国大会では優勝はなし得なかったが、全国高等柔道大会に予科チームが参加し、準決勝と準々決勝とその年の優勝校の六高と松山高校に惜敗したが、常に優勝候補の一つに挙げられていた。そのかわり練習成績の話になり、僕は課目の八割以上は優であったといったら、千原君それはほんとか、それでは成績表は今も保管されているはずだから調べて見ようということになり、早速調べられたらしく、ほとなくほんとにほんとだいって僕の成績表のリコピーを送って来られたが前記の通りであり、特に学部三年の時はオール優であった。

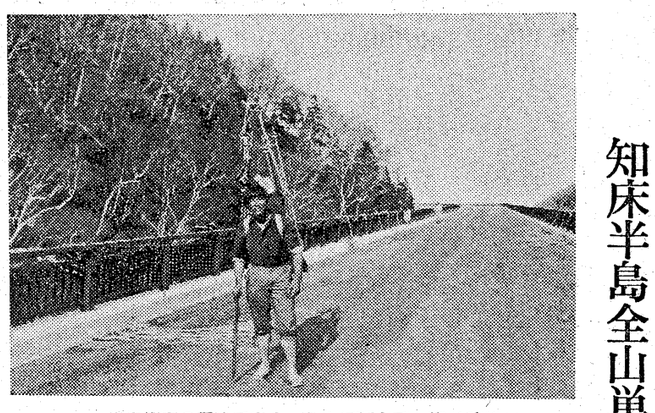
僕は今、前記高専大会の好敵手であった六高柔道部の卒業生で作っている六華会の特別会員に推されて毎年例会に出席しているが、この会員には桜田武、水野重雄、早川勝各氏のごとく日本財界の代表的人物が多数おられる。これらの人は六高が全国優勝した頃の主将格の人々である。やはり六華会のメンバーの人々である。僕は中学の友人の野上智賀雄君がいて東洋レーヨンの人事部長であった昭和二十五、六年頃、君の後輩を採用しようと思っているのだといっていたが、間もなく一瀬君や岩田君を採用してくれた。

前記の人々は推薦入学でなければ入学出来ないような人ではないことをお分かり願いたい。選手である前に学生であるということを銘記され、学業と選手生活を両立されることを望みます。

霧と風と冷雨の山

知床半島全山単独縦走

二上純一



半島縦走の帰途で出会った人に頼んで一枚パチリ

「知床」という名は、アイヌ語の「シリ・エトク」に由来するのだそうで、これを「地の涯」などと訳してしまっては、いかにも観光パンフレットの臭いがして好きになれない。「大地がなくなる所」と直訳した方が叙事的な詩情が感じられる。

昨年の秋、突然知床半島へ行きたくなりました。これといって理由などなかったのですが、呼ぶ声が聞こえたといえば、ちょっと方ツコ良すぎるでしょうか。でも旅の動機なんてたいていそんなものだと思います。最初は流氷伝いに岬に立ちたいと考えていました。しかし、なかなか出発の機会を得ぬまま流氷の季節が過ぎ、次に考えたのが、半島の基部から峰伝いに縦走して岬まで抜けてやろうということでした。

釧網本線の車窓から見た知床半島は長かった。遠いなアと思いました。海別岳・遠音別岳・羅臼岳と地図ではかり眺めていた山々を数えると、知床岳はその向こう、オホーツクの海の上に白く霞んで島のように見えました。岬はさらにその向こう、半島の基部からは八〇㌔の距離にあるということでした。

一応の資料調べはして来たものの、詳しい話が聞ければそれに越したことはないと、斜里に着いてから地元の山岳会の方に問い合わせてみました。ところが「海別岳から縦走するなんて無理ですよ。よそではちょっと想像も出来ないようなひどい這松ですからねェ。ほかにも色々と障害が多いし、熊も出ますよ。」

「知床で縦走出来るのは羅臼岳と硫黄山の間だけ。知床岳も羅臼側の海岸からなら登れないこともないんですが、こちらからではねェ」と渋い声。まして一人で行くのだというと、「あのねえ、海別岳も、羅臼岳も、知床岳も、みんな別々の山なんですよ。あなた、ちっとも調べて来なかったね」と全然相手にしてくれなくなりました。

そんな山ですから這松こぎには苦労しました。密生する這松の揺れる枝に乗り、両手両足を巧みに操りながら地上数十㌢の高さで泳いで行くのです。担いだスキーがひっかかるし、ピシャリと枝がはね返ると、下手をすると枝がぐにゃっと曲がって足が落ちてしまいます。落ちればからまる枝の中から足を引き抜くのがまたひと苦労。乗っている時は頼りないのに、うっかりスネなど当てようものなら痛くてたまらないのだから始末に負えません。相当な覚悟はして行ったのですが、ついつい嫌気がさしては腰を下ろしてしまいます。見おろせば、ちっぽけな遊覧船がのどかに航跡を描いています。遠く国後の山が白くそびえています。霧の多い所だと思いました……。風の強い所だと思いました……。太平洋か或いはオホーツク海から常にかなり強い風が吹いています。本当に強い時は這松しがみついていなければ飛ばされてしまいそうで、何でもない所でも随分疲労しました。

しかし何といっても十六日の夕方から降り続いた雨にはお手上げでした。羅臼では二日間で一八〇㍉を越えたとラジオは伝え、敲きつける雨はまわりの雪を溶かして一〇㌢二〇㌢とテントを浮かし、二度もテントを張りかえなければなりませんでした。しぼったシュラフ（寝袋）でガタガタ震え、さすくれ立った手の指が長湯につかったように白くふやけているのを眺めながら、一度下山しなければならないなと、決心しました。

ルサ川の下降も大変でした。普段は膝から下は濡らさぬというこの川も渡渉を繰り返すこと十数回、ひどい所ではへその上まつかりました。それでも一担水量の減った時うまく下れたと思います。全身びしょ濡れで冷雨の中を町とは名ばかりの岬町に辿り着き、小さなカンバンが出ていなければそれとは気づかぬような商店で"ショートホープ"を買いました。おばさんに「あたたまっておゆき」と言われたのですが、山歩きの後でさむいからと遠慮していると「黙って入れば いいんだ！」と奥から怒鳴られてしまいました。ストーブの横で熱い茶を頂き、出されたお菓子をすべて平らげ、大きなモチを四つ（あんこの入ったのが二つ、豆の入ったのが二つ）カレイの干しものを三枚、最後にそばをご馳走になり、買った煙草を忘れてバスに乗りました。おばさんは函館から先は行ったことがないそうです。奥から怒鳴ったおじいさんはこの家の人ではなく近所の人だそうです。彼は昔、うちの探検部が知床岳へ行った時晩泊めてやったと話していました。

人っ子ひとり会わぬ山を右に太平洋、左にオホーツク海を見下ろしながら残雪の合い間に這松をこぎ、貧弱な食糧事情に腹をすかしては岩間に残るコケモモの小さな実を口の中へほうりこむと、みんなでワイワイ言いながら行く山の楽しさとはまた違った、酢っぱい甘さが舌に浸み込みます。

一・二・三・四……心の中で数を読みながら十歩あるいては立ち止まり、また十歩あるいては立ち止まる。ハァハァと遠い息をしながらこんなことを繰り返していれば、いつの間にか知床岳の頂上台地に着くのだから不思議なものだと思いました。振り返れば、点々と雪の上に連なる足跡が緩いカーブを描きながら続いています。こんな芥子粒みたいな一歩一歩がよくまあ幾つもの山を越えさせてくれるものだと、いつものことながら感心しました。

五月末七日に海別岳の麓に取りついて以来、海別岳（一〇一九㍍）ラサウヌプリ（一三三〇㍍）知西別岳（一三一九㍍）羅臼岳（一六六〇㍍）硫黄岳（一五六二㍍）るしゃ山（八四八㍍）知床岳（一二五四㍍）ウィーヌプリ（六五一㍍）と、ルサ乗越にて一度下山、六日間の中断はしたものの、中断を除いて十四日の単独縦走に成功し、知床岬へ着いたのは五月二十六日の夕方。曇空がほんのりと紅に染まりはじめた頃でした。

岬の台地はまだ青くは萌えず、枯草の陰に桜草が幾つか咲いているだけでした。

（関西大学山岳会々員）

書斎の窓 ―69―

小川正

真の「教育の世界」の創造

―東井・斎藤・福地氏らから学ぶ―

戦後の教育実践をふりかえってみると、教育学者や教育評論家が、教育機能の中核である教師と子どもの関係（働きかけ合い）のあり方について、「教授」、「学習」、はては、「教授＝学習」などと、観念的に規定したり、教師から子どもへの文化遺産の伝達、つまり、垂直関係を重視する立場を「すずめの学校」といい、教師と子どもの並列関係、つまり、子どもの興味、自発性・創造性を尊重し、ともに真理を追及する立場を「めだかの学校」などと揶揄している間に、教育実践の質の地平をたかめていたのは、じつは、それらの人びとではなくて、地道に実践に取組んでいた、東井義雄、斎藤喜博、福地幸造氏ら、三人の現場の教師であった。

これら三人の実践家は、子どもにとって教育されるとはどういうことか、教師にとって教育するとはどういうことか、さらには、両者の関係の質を不断に深めるにはいかにすればよいかを、先の人びとがふりまく幻想にまどわされることなく、自らの「生活世界」で、当事者性に徹しながら、着実に追及していたのである。三氏のこれらの実践では、埴谷雄高のいう「存在の革命」をめざすがごとく、不可視の世界を可視化すべく努力されており、教師の「視点」のたえざる変革を求めるところにその特質があるのであって、この点に焦点をあてて学んでみよう。

教師は「ほんもの」になる

東井義雄氏は、現代の学校教育において、何の疑いもなく肯定されている「子どもを教育的操作対象とみなし、周到な教育的配慮をもってすれば、教師の意図通り自在に子どもを教育しうるのだ」という"教える教育"を根本から疑い否定する。もちろん東井氏には、「人間が人間を変えるなどいうことは、思いあがった考え」という教育観が根底にあるのであるが、教師の観念的なひとりよがりな、子どもの生活のヒダに触れない教育空間（教育体制）に安住し、かかる地平でいとなまれる教育（教えること）に満足することを強くいましめる（その悪しき典型例は、現在の公教育を支配している受験体制の教育である）。そして氏は、子ども自身に自らを変え成長させる自己教育能力があり、教育とは、この能力を子ども自身に自覚させ、顕在化させること以外にありえないとするのである。

かように、自己教育の思想を基盤にした教育実践の再構築に目覚めた東井氏は、「"教える教育"の限界をつき破るものは何か」と自問し、「それは教師が【ほんもの】になることだけだ。人を【ほんもの】にしようとして教えるのではない。自分が【ほんもの】になるのだ」と自答する。そしてさらに、【ほんもの】だけが人のいのちにふれていき、【ほんもの】だけがまわりを育てていく」と付け加えるのである。

東井氏が指摘する「教師はは【ほんもの】になる」という言葉の意味は、教師が指導者意識にとらわれることなく、すなおな眼（まなこ）で、子どもの自然（ほんもの）の姿を感受する。このことは、教師自身が「ほんもの」になり、自らのの「自己教育能力」をたかめなければ保障しえないのであって、感受は同時に教師自らが「ほんもの」になる努力でもある。子どもは教師のかかる努力に触発されて、自らも「ほんもの」になろうと努力する。つまり、教師と子どもの間に、なんの幻想にとらわれることのない、人間本来の姿として、ともに「自己教育能力」をたかめあう「互教互学」の教育関係を成立させなければならないということを意味するのである。東井氏の創出した以上のような「教育の世界」は、私たちに多くの示唆を与えるのではなかろうか。

教師は授業で勝負する

斎藤喜博氏は、教育実践の中核に、授業をすえ、「授業の創造」こそ、現場の教師が請け負わなければならない仕事とし、不断にのぞましい授業を創造することによって、子どもたちに質の高いものを与え、すべての子どもたちの持っている可能性を引き出したかめていかなければならないという。斎藤氏のこの考えは、東井氏と同様、現在の学校教育において惰性的に展開されている授業に対するきびしい批判にほかならない。しかし氏は、東井氏のように、"教える教育"を必ずしも否定されてはいない。むしろ基本的には、"教える教育"を肯定されており、"教える教育"の内実を豊かなものにすることをめざしている。

しかしその子どもたちも、卒業してしまえばあとに残るものはなにもない」（「私の教師論」）

斎藤氏は、右の引用からもわかるように、教育を瞬間的な芸術ととらえ、教師は一瞬一瞬の創造に全力をつくすべきことを強調されている。その真意は、「100を与えておけば、当然○○になるだろう」といった従来の"教える教育"論者が安住する擬制の世界を徹底的に排除し、事実のもとに、教師の力量を不断にたかめることによって、教育実践を再構築しようと意図されているところにある。

したがって、斎藤氏がいう「教師は授業で勝負する」の言葉の意味は、「教師は教育専門技術者としてただ教室実践の仕事をしておればよい」といった意味では決してない。事実をもとにしない政治主義的な発言、あるいは、「二〇坪の内と外」に代表される既成概念等にとらわれて、教師が安易に決断することを強いましめ、それらを括弧に入れ、まさに教師の専門的な任務である授業の事実をもとにして、いや、すべてのことがらを授業に凝集するような型で、教師が主体的に教育実践の関係の質を不断に深めようとしている点で異なる。「親の生きざま」を教育内容として重視することなどその代表的な証といえよう。

そして氏は、柳田国男のことく、「ハレ」の世界を捨て「ケ」の世界を凝視する「絶対少数派」の立場に立ち、「血脈の思想」「もっとも辱かしめられ、「人間として担否」されつづけてきたこの圧迫の歴史のなかで、哀喪われなかったものの奪いつくすことのできなかったのは何かを、わたしは血脈の思想とよんでいる。上野英信のいう怨念というものに近い」（「部落解放教育の思想」）から学ぶべきことを強調する。その実際の方法として、「部落」（ケの世界の象徴と考えた方がよいだろう）の現実の懐（フトコロ）に鉛をおろし、「沈黙の世界」の意味をたしかめる「問行二人」の教育者と被教育者の関係をのぞましいとし、教育実践の再構築をめざしてねばり強く努力されているのである。

これだけでは、福地幸造氏が創出した「教育の世界」を十分に紹介しきれていない。今後の私の課題であるが、この段階で学ぶべきものが多くあるというのは、私の思い過ごしであろう。

以上、三人の教育実践家の創出した「教育の世界」を紹介してきた。このつたない論文に「わが関西大学」への私の思いがこめられていることを、校友のみなさんにご理解いただければ、望外の幸せである。

（文学部教授）

低迷安住感打破へ

体育会リーダースキャンプ

昭和五十年度第十三回関西大学体育会リーダースキャンプは、七月八日から十日の三日間、福井県若狭高浜において、明日の関大体育会を背負っていく各クラブの次期リーダーをはじめ、学生部長の他多くの学校関係者の方々の参加のもとに行われた。このリーダースキャンプは、次期幹部となるものが討論等によって幹部としての自覚を持ち、また各部員相互の親睦を図ることによってクラブ間の連帯感を深め、ひいては関西大学体育会を強化発展させようという目的として行われている行事である。

今回は、全般的にみてここ数年続けている戦力の低迷・部員減少等といった諸問題を解決することなく一種の停滞ムードに浸っていてはいけないと、統一スローガンを「関大体育会の低迷安住感をぶちやぶろう」と題してこのキャンプが始められた。そしてこのリーダースキャンプで中心をなしたのは、三回に分けて三班で行われた班別討論会であった。この討論会では、統一議題を「体育会の現状を把握・理解し、これからのクラブ活動の方向性を考える」とし、一班「体育会の現状を鑑みてのこれからの体育会」、二班「関大体育会真のクラブ活動を考える」、三班「クラブの連帯と長期的視野に立った体育会の発展」と各班それぞれのサブテーマを持って討論がかわされた。

はじめしらけた討論会というムードが強かったが、時がたつにつれ、部員減少からくる戦力の低迷問題や体育会の連帯等を中心に、討論に熱気が帯びはじめ、最後には打開策を導き出すための必死の討論がなされた。そしてそれと並行して、各部員相互の連帯感も深められていった。

またこれらの討論会に先立って、社会学部前田教授、相撲部のOBであり現在相撲部の監督である川口先輩より、それぞれの講演がなされ、前田先生からは「小集団におけるリーダーシップについて」、また川口先輩からは「トレーニング方法とクラブ運営での幹部のあり方について」というテーマの下、多くの参考意見を聞かせていただき、討論の中にも講演された意見がとり入れられていた。

以上が今回のリーダースキャンプの概要であるが、各体育会員は討論会を通じて、あるいは学校関係者の方々及びOBの方々の意見を胸に刻み、今後の体育会発展の必要性を新たに認識して、三日間にわたるリーダースキャンプの幕を閉じた。

◇九十周年記念親睦ゴルフ大会◇

校友、教職員を対象とした、記念ゴルフ大会が開かれることになった。

時　十月三十一日（金）
所　有馬ロイヤルゴルフクラブ
定員　百五十名

詳細は次号にて通知します。

山口フミエさん（代議員山口多賀蔵夫人）七月三日午前十時逝去された。

関西大学校友会刊
関西大学を築いた人々
A5二九四頁　一、〇〇〇円　〒二〇〇円
人物伝による九〇年史　横田健一、薗田喜融両教授が六年余機関紙「関大」に連載好評
毎日新聞社刊
大学シリーズ　関西大学
B5一八四頁　一、〇〇〇円　〒二〇〇円
カラー写真による大学の現況　貴重な写真により大学の歴史発展過程を綴る
関西大学校友会
564 吹田市山手町3-3-35 関西大学会館
振替大阪 55594　電話 06-388-1121大代

喫茶 ヘカ
地下鉄東梅田・日興ビル B1　☎313-6774

おそばのおいしいお店
家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
大阪店　東宝梅田会館/ウメダ地下センター/阪急三番街 梅田新道/難波波戎橋筋/ミナミ絶下センター 南OSプラザ/阪急川西能勢口駅前
東京店　有楽町/日比谷/渋谷/蒲田/池袋
神戸店　阪急三宮駅西口
千葉店　千葉セントラルプラザ
仙台店　仙台ジャスコシティ

暑中お見舞申し上げます
校友会計人・司法書士有志

公認会計士 畑下辰典　大阪市天王寺区上本町五ノ二ノ二〇 ヤマトビル三階　電話(762)八一二一～一
日野上会計事務所 税理士 日野上輝夫　〒547 大阪市平野区平野本町五丁目九番三号　電話(791)〇七一二四
公認会計士 税理士 日和佐良太郎　大阪市東成区東今里三ノ二五ノ六　電話(976)〇四四四・〇四四五
公認会計士 税理士 平野資擧（本名繁敏）　〒550 大阪市西区川口町三ノ川口ビル　電話(583)〇九六七・一六九〇
公認会計士 税理士 宮越功　東大阪市下小阪四九二ノ一　電話 大阪(722)七六七〇
公認会計士 税理士 山田栄一　大阪市天王寺区勝山通二ノ二〇五　電話(771)七一二一～九(代)
税理士 中小企業診断士 矢木孟　大阪市生野区勝山北一ノ八ノ三　電話(741)四六四・三～五
二見公認会計士事務所 公認会計士 二見豊一　大阪市東区平野町一丁目三番地 三洋ビル　電話(231)九七八一～四
牧村公認会計士事務所 公認会計士 税理士 牧村恵司（本名 正夫）　〒543 大阪市天王寺区勝山通ノ二ノ三　電話(771)六五七六・二九〇三
宮口会計事務所 税理士 宮口明　高槻市芥川町一ノ一〇ノ三〇　電話〇七二六(82)五七八〇(代)
校友会東大阪支部事務局 公認会計士 税理士 川崎宗一　東大阪市下小阪四九二ノ一　電話 大阪(722)七六七〇
山田会計事務所 公認会計士 税理士 山田政義　大阪市北区菅原町三三　電話(364)一九三一～三
矢野公認会計士事務所 矢野コンピューター会計事務所 公認会計士 税理士 矢野秀治　〒598 泉佐野市高松町一五四七ノ三　電話(62)〇七八八～九
公認会計士 税理士 山根賢蔵　大阪市東区道修町一ノ二〇　電話(231)六二四六・六四五二　自宅 堺〇七二二(61)一三六四
山本守昭会計事務所 税理士 山本守昭　大阪市西区京町堀五ノ三八　電話(441)一〇七九・四四五三
公認会計士 米山正次　監査法人中央会計事務所 大阪東大阪町二丁目 住友生命淀屋橋ビル九階　電話(202)四八四八
森本公認会計士事務所 公認会計士 税理士 森本勇　大阪市北区山崎町一七　電話(313)二四六一(代)
公認会計士 税理士 森田森　堺市和田六一六一　電話〇七二四(22)(代)
公認会計士 税理士 森下良雄　東大阪市若江本町二丁目三ノ二〇　電話 大阪(722)四八四六〇
公認会計士 税理士 福田憲弥　神戸市生田区栄町通四ノ二二　同和第二ビル
弁護士 公認会計士 藤川建治　大阪市東区淡路町三ノ六 船場ビル三階三〇号室　電話(202)三六八〇
藤原龍太
司法書士 池内次郎
司法書士 高井弘子　大阪市北区老松町三丁目二七 和ビル三階　電話(365)一一八六
司法書士 萩原弘　伊丹市昆陽二丁目一六番地　電話〇七二七(79)〇三〇五
司法書士合同事務所 司法書士 上野義治　司法書士 田畑孝康　司法書士 山矢隆夫　大阪市北区真砂町五六 植田ビル　電話(364)六三九二
市川徳明　吹田市寿町一丁目一四ノ二　電話(381)三四九八
高杉総合不動産株式会社 司法書士 不動産鑑定士 土地家屋調査士 高杉昭規　大阪市東淀川区淡路新町五三　電話(322)〇〇三三・二九二二
司法書士 樋口徹雄　大阪市天王寺区六万体町七　電話(771)二六二六・二六三九
高橋 高橋一夫 孟　大阪市東区谷町二丁目四一　電話(941)二六七〇・四七五五
人権擁護委員 司法書士 細井茂雄　池田市満寿美町七番一六号　電話〇七二七(51)三三二一
司法書士 植田喜一　大阪市東区京橋三丁目二　電話(942)五四三四(代)
司法書士関大会 竹田操司
司法書士 竹村奈良長　豊中市宝山町一六番一〇号　電話〇六(852)三五八七
司法書士 土地家屋調査士 坂本壽三夫　豊中市岡町北一丁目一番九号　電話〇六(841)二三二〇
司法書士 塚本哲　豊中市宝山町二三番一九号　電話〇六(852)一七一九
司法書士 安喜正雄　大阪市天王寺区六万体町七　電話(771)三七七六・三七七七
司法書士 土地家屋調査士 美馬康一　神戸市長田区腕塚町四ノ三ノ三　電話〇七八(611)〇六三二
司法書士 山中清　茨木市上中条二丁目二ノ一八　電話〇七二六(25)一三七三(代)
司法書士 法学士 大中清一　枚方市大垣内町二ノ二ノ四　電話〇七二〇(41)二八六四
司法書士 河村政彦　大阪市東成区大今里西二ノ七ノ四　電話(971)六二二八

自然と何かを始めよう。
世界の街を、大自然の中を、快適ライフの輪をひろげながら走りつづけるツバメ自転車。今話題のアルミ製テニスラケットなど、日本ではじめてリムを開発した信頼あるアラヤの技術が、いま自然と健康を愛する多くの人たちに親しまれています。
ツバメ自転車
アラヤ メタルラケット
新家工業株式会社
大阪市西淀川区竹島1-1
TEL 06-474-1313(代表)

超高速新聞輪転機稼動
どこへ行っても定評あるきれいな印刷・確実な納期・新聞専門一貫工場
DAIICHI SHIMBUN
■業界専門紙誌 ■社内報 ■官庁関係公報 ■チラシ・カタログ ■特に大量の印刷物
第一新聞印刷株式会社
大阪市福島区上福島北2-86　TEL 06(451)6871～3

各種プラスチック原料
化学工業薬品全般
各種成型機械
プラスチック製品全般
合成商事株式会社
本社　大阪市東区北浜3丁目41番地　日本文化会館ビル　電話(06)231-9461番(代表)
東京営業所　東京都千代田区飯田橋1丁目7番10号　山京ビル　電話(03)263-6128番(代表)

高まる感銘と期待

五回を終えた 飛鳥『史学・文学講座』

今年三月、奈良県高市郡明日香村が村民の生活、文化の向上を目的として、同村川原に「明日香村中央公民館」が建設された。

時を同じくして、関西大学が植田正路氏の寄付金をもとに、飛鳥川の上流、南淵の静寂の地に「関西大学飛鳥文化研究所」が開設された。

この建設には明日香村民のご協力を受けて実現したが、これを機会に明日香村中央公民館と関西大学飛鳥文化研究所が共催して、明日香村民及び飛鳥の歴史や文学に深い関心をもつ人のために「史学・文学講座」を開催することになった。

こうした企画が文学部横田健一教授によって発起され、早速四月から開講しようということになったため、その準備が急がれた。

そこで、講座は毎月一回、一年間計十回（一、三月は学年末のため開かない）として、本学の文学部史学科、国文学科及び法学部の諸先生にお願いしたところ、快く講師をお引受下さった。日程と講題も決まり、明日香村民へは「村報あすか」、その他一般の方々には開催要項を発送した。このことが各新聞にも報道され、数月間に五百名程の申込み者が殺到し、大きな反響を呼んだ。

関東、九州からも

すでに、今日まで四回にわたって実施したが、会場は満員、なかには毎回栃木県や東京都から、早朝新幹線でたち、講義を聴講し、終了後夕方の新幹線で帰られるという熱心な方が十数名もおられ、九州、四国からも出席される方もおられる。

それだけに会場のふん囲気は真剣そのもので、延々二時間、メモをとりながら聴講される様子をみると、この講座に深い感銘と期待をもたれているものと思われる。

さて第一回目は、明石三郎学長の開会挨拶に続いて、文学部横田健一教授の「帝都としての飛鳥の歴史地理学的位置」と題する講義であった。

日本古代、何故飛鳥という地に都が造営されたという問題を、史地理学的な視点から説明しようとしていた内容であった。

続いて第二回目は同じく文学部の有坂隆道教授の「高松塚古墳の被葬者をめぐって」であった。

昭和四十七年三月、本学の学生たちが参加した発掘調査によって見事な極彩色の壁画を検出した高松塚古墳は、センセーションを巻き起こした。それ以後、高塚古墳、とりわけ被葬者をめぐっても多くの意見が発表されたが、これらの被葬者論を批判し、総括してどのような人物と考えられるかを、校長はこの時、同校の教員として、何度も校内を見回り生徒が一人もいないことを見届けた上、最後に避難したのであったが、程なくして校舎の三分の二が倒壊した。しかし幸いに小林らの活躍もあって、生徒・教員共だれ一人負傷した者はなかった。

話された。

六月八日の第三回目は古代文学、特に万葉集の研究者として多くの業績を挙げられている国文学科の木下正俊教授の「飛鳥の神奈備について」と題する講義が行われた。

「万葉集」や「出雲国造神賀詞」にみえる飛鳥の神奈備の位置をめぐっては従来から多くの学説がある。この異説を批判しながら、神奈備の意味と位置についての意見を披歴された。

第四回目は七月六日に法学部高橋三知雄助教授の「梅原猛著『水底の歌』批判」という題であった。

現在京都市立芸術大学長である梅原猛氏は「隠された十字架」（法隆寺のこと）「賀茂の王」（高松塚のこと）「水底の歌」（柿本人麿のこと）という本を出版された。これらの本は多くの人に読まれているが、その記述のなかに論理的矛盾が随所にあるとして、その誤りを「梅原古代学の根本的誤謬」として徹底的に批判された。

第五回は八月三日、法学部奥村郁三助教授の「『隨唐律令について』が行われた。

引続いてこの「史学・文学講座」は次のような日程で開講される予定である。

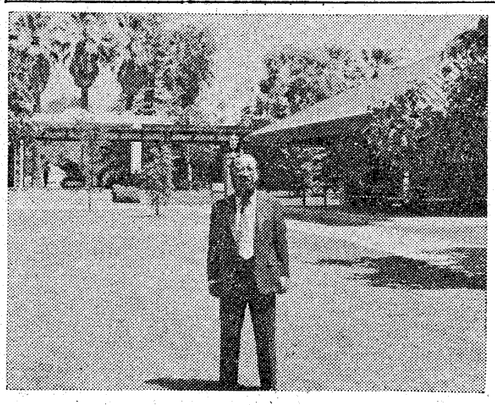
九月七日　「飛鳥における終末期古墳について」　文学部　網干　善教教授

十月五日　「三・四世紀のアジア―邪馬台国をめぐって―」　文学部　大庭　脩教授

十一月二日　「高市皇子の挽歌について」　文学部　吉永　登教授

十二月七日　「藤原京と香久山」　文学部　神堀　忍教授

一月十日　「隨唐文化の諸相」　文学部　藤善　真澄助教授



MSLのキャンパスでの森省三教授

関大を彩る人々

谷岡登

年史資料編集室　大場義之

（下）

昭和九年九月二十一日、高知県の室戸岬に上陸した第二室戸台風は、北上して関西地方を襲い、その暴威は大阪においても眼を覆わしむる惨状をそこここで繰り広げた。現在と違って鉄筋コンクリートの校舎など余り見られなかった当時の各学校が受けた被害は、大きなものがあった。

昭和三年谷岡が創設した大阪城東商業学校も開学満六年目を迎え、これから更なる飛躍を目指していた時であった。

その日、朝の七時にはすでにかなりの風速があり、城東商業のグラウンドに立っていたバスケットボールのスタンドも、風にあおられて歩き出す始末であった。現大阪商業大学付属高校の小林得一郎校長はこの時、同校の教員として、何度も校内を見回り生徒が一人もいないことを見届けた上、最後に避難したのであったが、程なくして校舎の三分の二が倒壊した。しかし幸いに小林らの活躍もあって、生徒・教員共だれ一人負傷した者はなかった。

余談になるが、阪急電車関大前駅の一つ梅田寄り、豊津にあった豊津尋常高等小学校でも、この台風によって校舎が倒壊、小学生五十一名が亡くなり、女子教員二名が殉職するという悼ましい事故が起こっている。そして今もその地に慰霊碑が建てられている。

六年前、谷岡家の資産と親せきや参宮急行電鉄（現近鉄）金森又一郎社長の協力を得て建てた校舎がいくら自然の暴威のためとはいえ、一瞬のうちにその大半が倒壊するという、これまでの人生で最大の難事に当面した谷岡は、さすがに身がひきしまるのを覚えた。

室戸台風の教訓

――しかし、これだけの災害に遭いながら誰一人の負傷者も出してはいない。教育者としては、校舎が倒れたことを悲しむよりも、むしろだれ一人の負傷者も出さなかったということを喜ぶべきではないのか――こんな思いが一瞬心の底をよぎったが、翌日からの授業の準備に追われてこの時の谷岡には、悲しんでいる暇さえなかったのである。

事実、彼はこの難事に際してさえ、休校にもせず、翌日から分散して仮教室で授業を始めた。そして翌十年十二月には早くも鉄筋コンクリート建ての本館竣工、また十二年三月には東新館が完成したが、この間にその資金調達の方法として、当時としては画期的ともいえる学債を発行している。

なお、ここで記しておかなければならないのは、昭和九年の災害で学んだこととして、万一に備え、どんな時にでも生徒が避難し易いようにと、校舎の廊下の幅を広くとったことであった。現に筆者も当時の建物を案内されて驚いたのであるが、鉄筋の建物にして、なおかつこれだけの配慮をしたことに対して、筆者はそこに谷岡のもっていた教育者としての自覚と崇高な精神を感じ、頭の下る思いがしてならなかったのである。

前回にも触れた如く、谷岡は後に歌をたしなむようになるが、彼が当時の苦しかった心境を偲んで詠んだと思われるものに

歌で事実の表現を

昭和十七年、彼は当時海軍文官の資格で二度目の満州、中国教育事情の視察に赴いたが、すでに第二次世界大戦の最中であり、軍事機密がやかましく、内地へ出す手紙の検閲がうるさくて、実情報告をすることも、うかつには出来なかった。ところが、そこはアイデアマンの谷岡らしくはがきに歌を書いて通信することを思いつき、その中に各種のデーターまで織り込むということまでやってのけたのであった。

―(17)―

題字は明石三郎学長

"不倒の魂"を座右に

歌に托して苦難を克服

このころ、ところぶやうでも起き上る　我れに不倒の魂こそあれ

というのがあり、昨年十二月彼の逝去に際して発行された「谷岡学園報・故谷岡登先生哀悼特集号」にも、この歌が題字の下に大きく出ているが、これはやはり人間谷岡が、経てきた数々の苦労をふり返ってその心意気を示し、また再び訪れる苦難に際し、その心の拠り所としていたものだったからであろうか。

所で彼が五十歳に近くなって歌を詠み始めた動機は、何であったのか。

歌で事実の表現を

昭和十七年、彼は当時海軍文官の資格で二度目の満州、中国教育事情の視察に赴いたが、すでに第二次世界大戦の最中であり、軍事機密がやかましく、内地へ出す手紙の検閲がうるさくて、実情報告をすることも、うかつには出来なかった。ところが、そこはアイデアマンの谷岡らしくはがきに歌を書いて通信することを思いつき、その中に各種のデーターまで織り込むということまでやってのけたのであった。

このことがきっかけで、後につづけて詠作するようになるが、重浦春水の主催する春水会に入って歌からは、歌を詠むことで彼の一日が始まるようになった。

ここに、昭和三十六年十一月十二日の毎日新聞に掲載された「私の健康法」という記事があるが、その中で彼は

「朝起きるとすぐ摩擦体操をする。つぎにその日の朝刊のニュースから感じた、ありのままの気持を歌にして、その場で大声を出して歌う。こうすると、精神の統一だけでなく、ノドぶえまで摩擦したことになって、とても気持がいい」

こうして詠みつづけた歌は、「東洲歌日記」として三巻にまとめられているが、詠作の動機が先に触れたような事情にあったことから、「実情をありのままに表現することをズバリよむのが特徴で、飾り気は一切ない。従って美しいことを歌の生命と考えている人には、ものたりないかもしれない」と述べている。

次に彼の作歌を、本学関係者のことを詠んだものもあわせて少しばかりあげてみる。

墓製の手帖一冊たよりにて
われの半世歌つづり生く
（昭和39・4・14）

八月も半ばになれば秋の風我が師は山を降り立ち給ふ
（昭和38・8・15）

【今年は秋の季が早く来たのか、恩師武田蔵之助先生から便りが来て、軽井沢の別荘を降りて芦屋の本宅に帰宅せられた通知があった。身体を如何に大切にされているかを知ることが出来る。】

英才は時機来りなば咲きにけり
森川学兄学長となる
（昭和40・8・18）

【親友森川太郎博士学問と人格を兼ね備えた我等のホープである。関西大学の学長に就任されて誠に目出度いことである。】

太平の世をつくらむといみじくもふるひ立ちし中山のビル
（昭和41・1・2）

【太平グループの太平住宅社長中山幸市博士は、稀にみる理想実現家である。世の中を明るく社会改善に尽している。太平ビルの実現によって一つの型を造ったのである】

さてその後、谷岡は布施市の市会議員になり、市会副議長にも推挙されるが、大阪城東商業学校は戦時措置にあり、布施工業学校となって機械、航空の両科を置いた。しかし終戦となり、布施工業学校は元の大阪城東商業学校として復活した。

また彼は昭和二十二年、交野女子短期大学を創立、女子教育にもその経験を生かすことになった。

また彼の優れた知識と豊富な経験を求められて、日本私立大学協会の副会長や毎日放送テレビ教育会議理事を歴任するなど、要職についたことも数えれば枚挙にいとまがない。

こうしてみれば戦後にあっては、まさに順風万帆の感があるが、これとて決して一日にしてなったものではなく、毎日の努力の積み重ねの結果であった。

またここで忘れてはならないのは大をなした谷岡のそばにあって常に彼を扶けた花枝夫人の存在である。前回述べたように、結婚が転機となって谷岡の活躍が始まったのだから、彼が如何に花枝夫人を信頼し、また谷岡太郎現学園理事長を頭に七人の子弟を育てたことを始めとして、夫人のつくした力がいかに大きなものであったかは想像以上のものがあるであろう。

大学、女子短大、高校、中学、幼稚園と一大学園を創設した谷岡は、わが国有数の教育者の一人といっても過言ではあるまい。しかしその彼も老齢には勝てず、昭和四十年に心筋梗塞で入院、一時小康をえたが、昨四十九年十一月二十三日脳梗塞のため大阪赤十字病院本院で逝去した。正五位勲三等（旭日中綬章）。法名は宝竜院至徳遍照不退大居士。

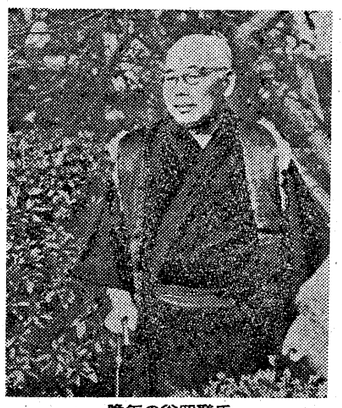
最後に彼が本学に関して詠んだ歌一首を掲げる。

我が友はそれぞれ育ち大をなし
関大の森夏は涼しき

秀麗の学舎を訪れ校友とともに語りつ若やぎにけり

拙稿を記すに当たり、谷岡学園理事長谷岡太郎先生をはじめ、大阪商業大学事務局長常岡恒夫氏及び同図書館課長中村昌子女史並に十三会の江口透、頓戸勇の両氏には数々のご教示をいただき、また資料の提供等一方ならぬ協力を賜わった。深謝する次第である。

（おわり）



晩年の谷岡登氏

異動

▽石佐清三郎（昭7大法）【㈱与太呂　会長】
▽辻　満雄（昭34学二法）藤井寺市春日丘公団一六の一〇二【近鉄百貨店奈良店】
▽辻岡清隆（昭47学一法）藤井寺市大井五の二一の三【阪奈自動車教習所】大東市野崎新
▽辻本富次（昭44学二法）藤井寺市道明寺一二一八【大阪市経理局管財課】
▽筒井利夫（臨16一高）藤井寺市春日丘二一一一〇【筒中プラスチック工業㈱　東区道修町一四〇】
▽鶴岡誠一【重光（昭16一商）東京都杉並区阿佐谷北六一二一】
▽豊島泰忠（昭42学二法）岸和田市土生町一一二一七コーポ泉風苑一〇七【大阪市立市民病院】
▽前川茂雄（昭13専一商）【㈱38学一仏】【長井サンシ商事㈱社長】
▽増谷弘義（昭19大法）【山下マーク㈱東京営業所　東京都千代田区神田佐久間町三一三二】
▽三橋多佳志（昭43学化一）堺市原山台四丁目七番一一〇三号【㈱日本特殊管製作所】
▽前川雅雄（昭13専一商）【㈱38学一仏】【長井サンシ商事㈱社長】
▽増谷弘義（昭19大法）【山下マーク㈱東京営業所　東京都千代田区神田佐久間町三一三二】
▽三橋多佳志（昭43学化一）堺市原山台四丁目七番一一〇三号【㈱日本特殊管製作所】
▽豊島泰忠（昭42学二法）岸和田市土生町一一二一七コーポ泉風苑一〇七【大阪市立市民病院】
▽堀　繁雄（昭38学二法）茨木市大字宿久庄一一六四【大阪府警察吹田警察署】吹田市穂波町
▽面田繁幸（昭30学一経）東京都大田区田園調布一一一八一二【大正海上火災保険本店首都開発部長】
▽山口利通（昭38学一英）生駒市中菜畑町二一一五三一〇【生駒市役所清掃局衛生所主査】
▽中塚節男（昭22大経）芦屋市朝日ケ丘町六の一一の二〇九【自営】
▽西本純子（昭47学一英）和歌山県伊都郡かつらぎ町高田一六四【京都ロイヤルホテル】
▽根岸孝夫（昭48学一経）【根岸会計事務所】福島区海老中一一二一二
▽藤本正博（昭39学一商）【藤本保険事務所（住友生命代理店）】
▽松原寿一（昭45学一法）豊中市本町一一一一四【青藍塾経営】豊中市上野西一一六一一〇富士スタアー二F
▽三牧敏雄【鈴木（大15専商・昭10大政）池田市井口堂一一六一三一【大阪ハマ倉庫代表取締役】
▽池田義彦（昭26専二経）八尾市東弓削三丁目三〇【八尾市役所市議会事務局長】
▽今若幹夫（昭29学一経）枚方市黄金野二一六一二六【近畿相互銀行】
▽岩崎充博（昭48院修機）岐阜県本巣郡真上町軽海一一八【㈱豊田自動織機製作所】
▽江原範雄（昭29学一法）旭区高殿四一二一五一九【八一【兵庫県川西市立川西南中学校教諭】兵庫県川西市久代三一三一一
▽麁児島恵子（昭48学一国）枚方市楠葉花園町五一四一六〇四【大阪市立今市中学校】
▽喜多三郎（昭25学一法）【南都銀行生駒支店長】
▽倉田　薫（昭46学一法）池田市神田四一二一二【池田市会議員】
▽佐野圭史（昭45学工電）山口県岩国市三角町宮有地【海上自衛隊第三十一支援整備隊】山口県岩国市三角町宮有地
▽佐野正照（昭45学一法）北海道浦河郡浦河町堺町80労働省宿舎【浦河労働基準監督署】
▽袰谷和子（前田（昭42学一英）群馬県多野郡吉井町字吉田一三七八の十一【退職】
▽下条武男（昭25学一商）枚方市山之上西町二七番八号【福田道路株式会社大阪支店長】
▽武内幸一郎（昭48学一経）尼崎市塚口辰巳八五九一一【富国生命保険相互会社淀川月掛支社】淀川区新北野一一九一五
▽西川隆清（昭47学工土）高槻市大塚町四一二四〇大成道路㈱技術研究所関西分室内【大成道路㈱技術研究所関西分室】【高槻市大塚町四一二四〇】
▽奴賀襲春（昭46学一法）栃木県宇都宮市不動前四一二一四【シャープ株式会社関東シャープ事務機販売】宇都宮市不動前四一二一四一
▽平野廉人（昭27学一法）川西市松が丘町十一三【共栄火災海上保険㈱】尼崎支部】尼崎市東難波町五の三の十三
▽堀　繁雄（昭38学二法）茨木市大字宿久庄一一六四【大阪府警察吹田警察署】吹田市穂波町
▽面田繁幸（昭30学一経）東京都大田区田園調布一一一八一二【大正海上火災保険本店首都開発部長】
▽山口利通（昭38学一英）生駒市中菜畑町二一一五三一〇【生駒市役所清掃局衛生所主査】
▽袰谷和子（前田（昭42学一英）群馬県多野郡吉井町字吉田一三七八の十一【退職】
▽下条武男（昭25学一商）枚方市山之上西町二七番八号【福田道路株式会社大阪支店長】
▽武内幸一郎（昭48学一経）尼崎市塚口辰巳八五九一一【富国生命保険相互会社淀川月掛支社】淀川区新北野一一九一五
▽西川隆清（昭47学工土）高槻市大塚町四一二四〇大成道路㈱技術研究所関西分室内【大成道路㈱技術研究所関西分室】【高槻市大塚町四一二四〇】
▽奴賀襲春（昭46学一法）栃木県宇都宮市不動前四一二一四【シャープ株式会社関東シャープ事務機販売】宇都宮市不動前四一二一四一
▽平野廉人（昭27学一法）川西市松が丘町十一三【共栄火災海上保険㈱】尼崎支部】尼崎市東難波町五の三の十三
▽堀　繁雄（昭38学二法）茨木市大字宿久庄一一六四【大阪府警察吹田警察署】吹田市穂波町
▽面田繁幸（昭30学一経）東京都大田区田園調布一一一八一二【大正海上火災保険本店首都開発部長】
▽山口利通（昭38学一英）生駒市中菜畑町二一一五三一〇【生駒市役所清掃局衛生所主査】

新刊紹介

北村英子著 なまめかし ―平安美的語調「なまめかし」の研究―

著者は巻末に「主要研究文献リスト」をあげておられるが、専門外の私はその一だに読んだことはない。従って「なまめかし」が、研究史上に如何なら位置を占めるものなのか、全く無知である。それにも拘らず書評の筆を執るなど、をこの沙汰であるのだが、書評ならざる読後感を記すことにする。

まず思い出話から。関大二部を卒業して長らく教壇に立っていた私が、大学院に入学して最初に出席したのが、吉永先生の「万葉集演習」だった。第一時間目だというので、先輩の二回生が演習の模範を示してくれ、多くの学説を要領よく紹介し、用語例を網羅開陳して解釈を下していき、我々新入生三名を煙に巻いた。その才媛の先輩が北村英子氏だったのである。以来、氏は私の第一印象通り、着実な研究をおし進められて、その成果を「なまめかし」の著に結実されたのである。菅原道真も「書斎記」という文章で"学問之道、抄出為宗、抄出之用、稿草為本"と述べて、カードによる調査整理を研究の根本としていたという。（「リポート笠間」第十一号益田宗「歴史もののつくられ方」）。氏の二百三十余頁の著の陰には、多くのカードと労力の推積があったものと推察し、又、敬服するのである。

本書は"なまめかし"という小孔から覗いた一つの王朝文学史と言えよう。著者は王朝時代の主要作品を丹念に読まれて「既成の総索引の類をまったく用いずに」"なまめかし"の全用例を集め、その共通性、時代的位相を考察し、ジャンル別比較などを試みておられるのである。そして「『薫物語』の成立年代は平安初期であると推定され、「虫めづる姫君」の男性作者説（玉井幸助氏説）を確認し、「栄華物語」の作者を高齢者とするなど、従来の多くの学説を、語彙研究の面から補強し、訂正し、新しい仮説を提示されているのである。一語彙の小孔から覗いただけでも、これほどの文学史的デッサンが描かれるのである。

本書には書いておられないが、北村氏の脳裏には、この調査研究を通じて発見された、多くの仮説や課題があるに違いない。一つ素人的希望を申しそえるなら、その課題の一つに「なぜ"なまめかし"が王朝美の最高峯と言えるのか」を書き加えておいて頂きたいと思う。

研究意欲をそそる多くの仮説、課題を抱えて、時間と研究費と自己の能力と悪戦苦闘することは、研究者にとって幸せと言うことが出来る。世俗的な幸福もさることながら、研究予定メモに記載されているであろう宿題を、一つ一つ今後の二精進によって解明され、素描された"なまめかし"的王朝文学史に、確実な一線一画を加え続けられて、研究者としての幸福も追求されるよう、切望する。

桜楓社・50年4月刊・八八〇〇円・A五判

関西大学年史紀要 第一号

小山仁示

この紀要第一号は、修学事業の重味を十分に感じさせる内容である。明治十五年の大阪法学舎と、明治十九年から二十二年までの創立期の関西法律学校に関する記事を、当時の朝日新聞と毎日新聞から集録して、B5判二六八㌻の大冊である。

私は、近代日本史を専攻する関係から、新聞記事からの資料収集と、それの編集をしばしばおこなった経験をもつが、本書の構成と内容は、正確さと読者への親切さの点ではみごとな出来ばえであって、さすがは学問の府たる大学の修史事業の所産と感じいった次第である。ぼう大な新聞記事のなかから必要なものをえらび、集め得たものを吟味し、分類整理するという作業は、すいぶんと根気のいることであって、本書の作成にあたられた年史資料編集室の人びとに敬意を表したい。

それにしても、本学創立期の数年間だけでこれだけの新聞記事集成となるとすれば、今後どれだけの資料が積みかさねられることと歳月の面をも含めて、学内外の関係者の積極的な援助と理解を必要としよう。この紀要第一号をひもとくことによって、私自身がその感を深くしたのである。

明治期の新聞は早出しがないために、記事の発見もたいへんだし、集めた記事に標題をつけるのも一苦労である。それに、どの範囲までを関係記事とするかも、なやみの種である。本書は、これらをみごとに解決し、編集方法においても新機軸をあみだしており、人名索引とともに、利用するのに便利である。創立関係者の動静や他の私立学校の事項、教育関係や司法官側、大阪事件に関する記事をも集録しているがために、本学の年史資料としてきわめていきどおっているだけでなく日本近代史の一面の資料集ともなりえている。

明治十九年十月から十二月にかけての、関西法律学校設立の記事はまことに興味深く、翌年二月三日の記事に、入学試験を受けなくても入学できるが、その場合には卒業証書を授与しないのであって、入試合格者のみが卒業証書をもらえるなどとあるのも、今日の観点からみて、なかなかおもしろい。定期試験の問題も、逐一報道されていて、興味をそそられる。

そして、このように親切丁寧につくられた本書を丹念に読んでいると、思わぬ発見をするものである。大正期の原敬内閣時代に衆議院議長として活躍した奥繁三郎の明治二十年の代言人開業広告によって、彼が大阪法学舎出身、関西法律学校在籍という事実を知るなど、いろんなことが教えられる。

末尾には、横田教授による「大正十年の三笠山血盟事件」と題する考証もおさめられている。ともあれ、本書作成につくされた大場氏と栗氏のご苦労はたいへんだったと思う。

（文学部教授）

「マクジョージ・ロー・スクール」について

"未来の法廷"で学ぶ

法運用の理論と実際

―2―

法学部教授　森　省三

このロー・スクールは過去半世紀の間に着々と発展して来ましたが、特に最近の十ヵ年間にすばらしい発展を遂げたといわれています。現在のMSLの前身であるマクジョージ法科大学の理事会は、一九五六年にシェイバー判事（Judge Gordon D. Schaber）をDeanに据え、一九五七年にキャンパスをサクラメントの下町から現地在に移しました。この年から学生数が一四〇名より一挙に一、二〇〇名を超えるようになりました。そして前述の如く、一九六六年十月二十六日にUOPと合併して、MSLとなり翌年昼間部（全日制）を増設したのであります。

このMSLは、サクラメント市にあるカルフォニア州議会の議事堂から南東三マイルのオーク・パーク地区の中にあります。

サクラメント市はカリフォルニア州の首府ですから、市・州・合衆国政府の建物のほかに、合衆国地方裁判所、カリフォルニア州第三地方控訴院、サクラメント市法律図書館、カリフォルニア州法律図書館などが、大学から車で十分位のところにあります。

全館エアコン付

この学校の敷地は八エーカー位ですが、建物は全館エアコンつきです。それに教室、研究室、事務室、図書室、廊下などその殆んどがカーペットを敷き詰めてありますので、足音が殆んど聞こえず大変静かです。教授陣は部長（Dean）以下官員教授をも含めて現在四七名ですが、学生数（enrollment）が年年増加するにつれて、設備とか授業内容などを充実改善させて来ています。しかしてこのような急速な発展にもかかわらず、この学校は高度な専門的法学教育を行う中で、教員、学生、経営者は実に親密な人間関係を保ち続けてきております。

これは大学が比較的小さいが故にこそなし得るのかどうかはよく分かりませんが、和気あいあいたる人間関係は、この大学における授業に参加すれば明らかに看取し得るところであり、何かとトラブルの多い関大も常にこのようにあってほしいと願わずにはいられません。

どうもプロパガンダ臭くなりましたが、この学校はアメリカ法律家協会（The American Bar Association）、並びにカリフォルニア州司法試験委員会（The State Bar of California Committee of Bar Examiness）からも十分にその優秀さが認められていて、今年も第一回目の司法試験が同校で行われましたし、また会衆国任郷軍人会も退役軍人に対する奨学金制度の恩典を同校の学生に認めております。

一九七四年春に建てられたこの学校の現在の図書館は、二階建て蔵書六万五千余冊、十二万五千冊の収書能力があります。もちろんエアコンが十分に行き届いており、開架図書が多いばかりか、閲覧室の横側にガラス張りの何室かのグループ研究室が設けられていますので、何人かで共同研究などをする時、他の閲覧者に迷惑を掛けないで討議なども出来ますから、大変好都合であります。

閲覧室の学生用の机は四一五以上あり、照明も十分で、一人ずつ他人に邪魔されず勉強できるようになっています。そして特に定められた休日を除いて、休暇中も毎日（日曜日も）午前9時から午後十二時まで開かれています。

それから学生相談室では、財政援助、住宅問題、学外問題などについての相談を取扱っております。

MSLの主たる目的は、社会において法律関係の仕事に従事せんとする人びとに、いろんな専門的法律知識を与えることにありますが、教室における理論と、現実社会における法運用の実際とのギャップを埋めるために、いろいろな工夫がなされていまして、その一つに"Courtroom of the Future,"（未来の法廷）というのがあります。

これは七年間にわたり、七つの州における一〇〇以上の法廷を調査研究した結果建てられたもので、裁判機能を果たす上において、設備とか授業内容などを充実改善させて来ています。しかしてこのような急速な発展にもかかわらず、この学校は高度な専門的法学教育を行う中で、教員、学生、経営者は実に親密な人間関係を保ち続けてきております。

これは大学が比較的小さいが故にこそなし得るのかどうかはよく分かりませんが、和気あいあいたる人間関係は、この大学における授業に参加すれば明らかに看取し得るところであり、何かとトラブルの多い関大も常にこのようにあってほしいと願わずにはいられません。

どうもプロパガンダ臭くなりましたが、この学校はアメリカ法律家協会（The American Bar Association）、並びにカリフォルニア州司法試験委員会（The State Bar of California Committee of Bar Examiness）からも十分にその優秀さが認められていて、今年も第一回目の司法試験が同校で行われましたし、また会衆国任郷軍人会も退役軍人に対する奨学金制度の恩典を同校の学生に認めております。

一九七四年春に建てられたこの学校の現在の図書館は、二階建て蔵書六万五千余冊、十二万五千冊の収書能力があります。もちろんエアコンが十分に行き届いており、閲覧室の横側にガラス張りの何室かのグループ研究室が設けられていますので、何人かで共同研究などをする時、他の閲覧者に迷惑を掛けないで討議なども出来ますから、大変好都合であります。

閲覧室の学生用の机は四一五以上あり、照明も十分で、一人ずつ他人に邪魔されず勉強できるようになっています。そして特に定められた休日を除いて、休暇中も毎日（日曜日も）午前9時から午後十二時まで開かれています。

それから学生相談室では、財政援助、住宅問題、学外問題などについての相談を取扱っております。

MSLの主たる目的は、社会において法律関係の仕事に従事せんとする人びとに、いろんな専門的法律知識を与えることにありますが、教室における理論と、現実社会における法運用の実際とのギャップを埋めるために、いろいろな工夫がなされていまして、その一つに"Courtroom of the Future,"（未来の法廷）というのがあります。

これは七年間にわたり、七つの州における一〇〇以上の法廷を調査研究した結果建てられたもので、裁判機能を果たす上において、設備とか授業内容などを充実改善させて来ています。しかしてこのような急速な発展にもかかわらず、この学校は高度な専門的法学教育を行う中で、教員、学生、経営者は実に親密な人間関係を保ち続けてきております。

これは大学が比較的小さいが故にこそなし得るのかどうかはよく分かりませんが、和気あいあいたる人間関係は、この大学における授業に参加すれば明らかに看取し得るところであり、何かとトラブルの多い関大も常にこのようにあってほしいと願わずにはいられません。

どうもプロパガンダ臭くなりましたが、この学校はアメリカ法律家協会（The American Bar Association）、並びにカリフォルニア州司法試験委員会（The State Bar of California Committee of Bar Examiness）からも十分にその優秀さが認められていて、今年も第一回目の司法試験が同校で行われましたし、また会衆国任郷軍人会も退役軍人に対する奨学金制度の恩典を同校の学生に認めております。

一九七四年春に建てられたこの学校の現在の図書館は、二階建て蔵書六万五千余冊、十二万五千冊の収書能力があります。もちろんエアコンが十分に行き届いており、閲覧室の横側にガラス張りの何室かのグループ研究室が設けられていますので、何人かで共同研究などをする時、他の閲覧者に迷惑を掛けないで討議なども出来ますから、大変好都合であります。

閲覧室の学生用の机は四一五以上あり、照明も十分で、一人ずつ他人に邪魔されず勉強できるようになっています。そして特に定められた休日を除いて、休暇中も毎日（日曜日も）午前9時から午後十二時まで開かれています。

それから学生相談室では、財政援助、住宅問題、学外問題などについての相談を取扱っております。

MSLの主たる目的は、社会において法律関係の仕事に従事せんとする人びとに、いろんな専門的法律知識を与えることにありますが、教室における理論と、現実社会における法運用の実際とのギャップを埋めるために、いろいろな工夫がなされていまして、その一つに"Courtroom of the Future,"（未来の法廷）というのがあります。

これは七年間にわたり、七つの州における一〇〇以上の法廷を調査研究した結果建てられたもので、裁判機能を果たす上において、設備とか授業内容などを充実改善させて来ています。しかしてこのような急速な発展にもかかわらず、この学校は高度な専門的法学教育を行う中で、教員、学生、経営者は実に親密な人間関係を保ち続けてきております。

これは大学が比較的小さいが故にこそなし得るのかどうかはよく分かりませんが、和気あいあいたる人間関係は、この大学における授業に参加すれば明らかに看取し得るところであり、何かとトラブルの多い関大も常にこのようにあってほしいと願わずにはいられません。

どうもプロパガンダ臭くなりましたが、この学校はアメリカ法律家協会（The American Bar Association）、並びにカリフォルニア州司法試験委員会（The State Bar of California Committee of Bar Examiness）からも十分にその優秀さが認められていて、今年も第一回目の司法試験が同校で行われましたし、また会衆国任郷軍人会も退役軍人に対する奨学金制度の恩典を同校の学生に認めております。

一九七四年春に建てられたこの学校の現在の図書館は、二階建て蔵書六万五千余冊、十二万五千冊の収書能力があります。もちろんエアコンが十分に行き届いており、閲覧室の横側にガラス張りの何室かのグループ研究室が設けられていますので、何人かで共同研究などをする時、他の閲覧者に迷惑を掛けないで討議なども出来ますから、大変好都合であります。

閲覧室の学生用の机は四一五以上あり、照明も十分で、一人ずつ他人に邪魔されず勉強できるようになっています。そして特に定められた休日を除いて、休暇中も毎日（日曜日も）午前9時から午後十二時まで開かれています。

それから学生相談室では、財政援助、住宅問題、学外問題などについての相談を取扱っております。

MSLの主たる目的は、社会において法律関係の仕事に従事せんとする人びとに、いろんな専門的法律知識を与えることにありますが、教室における理論と、現実社会における法運用の実際とのギャップを埋めるために、いろいろな工夫がなされていまして、その一つに"Courtroom of the Future,"（未来の法廷）というのがあります。

これは七年間にわたり、七つの州における一〇〇以上の法廷を調査研究した結果建てられたもので、裁判機能を果たす上において、設備とか授業内容などを充実改善させて来ています。しかしてこのような急速な発展にもかかわらず、この学校は高度な専門的法学教育を行う中で、教員、学生、経営者は実に親密な人間関係を保ち続けてきております。

これは大学が比較的小さいが故にこそなし得るのかどうかはよく分かりませんが、和気あいあいたる人間関係は、この大学における授業に参加すれば明らかに看取し得るところであり、何かとトラブルの多い関大も常にこのようにあってほしいと願わずにはいられません。

どうもプロパガンダ臭くなりましたが、この学校はアメリカ法律家協会（The American Bar Association）、並びにカリフォルニア州司法試験委員会（The State Bar of California Committee of Bar Examiness）からも十分にその優秀さが認められていて、今年も第一回目の司法試験が同校で行われましたし、また会衆国任郷軍人会も退役軍人に対する奨学金制度の恩典を同校の学生に認めております。

一九七四年春に建てられたこの学校の現在の図書館は、二階建て蔵書六万五千余冊、十二万五千冊の収書能力があります。もちろんエアコンが十分に行き届いており、閲覧室の横側にガラス張りの何室かのグループ研究室が設けられていますので、何人かで共同研究などをする時、他の閲覧者に迷惑を掛けないで討議なども出来ますから、大変好都合であります。

閲覧室の学生用の机は四一五以上あり、照明も十分で、一人ずつ他人に邪魔されず勉強できるようになっています。そして特に定められた休日を除いて、休暇中も毎日（日曜日も）午前9時から午後十二時まで開かれています。

それから学生相談室では、財政援助、住宅問題、学外問題などについての相談を取扱っております。

電話設備工事
各種電話交換機設備・拡声表示装置
電子計算機・テレタイプ等の販売
富士通株式会社特約店
NISSIN 日新電設株式会社
取締役社長　吉川谷蔵
大阪市東区谷町4丁目2番地
TEL (943) 1561番（代表）
営業所　京都・堺・彦根

うちみ・ねんざ・筋肉痛に
ペタンと湿布 フジパップ
フジパップは、すぐれた成分がヒフに浸透。患部の熱・ハレ・痛みをとって筋肉や神経の働きをスムーズにします。はりかえは1日1回、すぐ乾くことなく爽快感が持続します。

フジサワ

制禦盤配電盤製作・計装工事
共栄電器工業株式会社
取締役社長　柳楽喜祐
本社　〒660　尼崎市杭瀬北新町1丁目3番地
電話大阪(481)8807～0番(代表)・(489)3041番
東京営業所　〒176　東京都練馬区早宮2丁目26番25号
電話　東京(932)6266～7番